

令和7年度

工 事 設 計 書

工 事 名 県道大山淀江インター線支障水道施設移転工事
工事場所 西伯郡大山町末長

現場説明書

1

令和7年5月15日以降調達公告適用

工 程	<p>① (他工事等との調整) 本工事については、<u>県道大山滝江インター線(末長工区)外歩道設置工事(補助)</u>と関連するので相互の連絡調整を密にすること。</p> <p>② (部分完成、着工保留) _____については、_____まで_____ [すること、しないこと]。</p> <p>③ (施工時間) 本工事の施工時間帯は、昼間施工(8:00~17:00)を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____とする。</p> <p>④ (余裕期間設定工事) 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領(平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知)の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。</p> <p>⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長) この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>⑥ (週休2日工事) 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領(平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知)の対象工事である。https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htmに掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。</p>																																
用地 関係	<p>① (用地、物件等未処理) 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。</p>																																
支 障 物 件	<p>① (埋設物等の事前調査) 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、[未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____)]について調査済み]である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____)]であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>② (支障物件) _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>③ (立木の置き場所) 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。</p>																																
公 害 対 策	<p>① (低騒音型・低振動型建設機械) 本工事のうち施工箇所：_____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定(国土交通省告示、平成13年4月9日改正)に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種：_____、施工機械：_____</p>																																
安 全 対 策	<p>① (交通安全施設等) 一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <table border="0"><tr><td>交通誘導員A</td><td>_____人</td><td>交替要員</td><td>_____人</td><td>1日あたり合計</td><td>_____人</td><td>配置日数</td><td>_____日</td></tr><tr><td colspan="2">_____</td><td colspan="2">_____</td><td>工事全体合計</td><td>_____人・日</td><td colspan="2"></td></tr><tr><td>交通誘導員B</td><td>10人</td><td>交替要員</td><td>_____人</td><td>1日あたり合計</td><td>_____人</td><td>配置日数</td><td>_____日</td></tr><tr><td colspan="2">_____</td><td colspan="2">_____</td><td>工事全体合計</td><td>_____人・日</td><td colspan="2"></td></tr></table> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合においては、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。</p> <p>また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>	交通誘導員A	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日	_____		_____		工事全体合計	_____人・日			交通誘導員B	10人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日	_____		_____		工事全体合計	_____人・日		
交通誘導員A	_____人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日																										
_____		_____		工事全体合計	_____人・日																												
交通誘導員B	10人	交替要員	_____人	1日あたり合計	_____人	配置日数	_____日																										
_____		_____		工事全体合計	_____人・日																												

① (濁水処理)

王事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その王法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。
 また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について (平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知) (https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf) に基づいて適正に処理すること。

【建設発生土 (処理)】

① (他工事等流用)

建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ 工事現場に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。

② (建設技術センター)

建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内のセンター事業所に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。なお、処理費として1m³当たり _____ 円をセンターに支払うこと。
 センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例) 砂質土、コーン指数300kN/m²以上)

③ (民間残土受入地)

建設発生土は 大山 市 (町) 村 所子 地内の 指定処分場 に運搬 (片道運搬距離 2.7 km) するものとする。
 民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例) 砂質土、コーン指数300kN/m²以上)

④ (土質改良プラント)

建設発生土は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ に運搬 (片道運搬距離 _____ km) するものとする。なお、処理費として1m³当たり _____ 円を _____ に支払うこと。
 土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状 (記載例) 砂質土、コーン指数300kN/m²以上)

【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材 (処理)】

① (分別解体等)

コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいます。
 コンクリート塊 1m³当たり _____ 円
 アスファルト塊 1m³当たり _____ 円
 建設発生木材 1m³当たり _____ 円

② (他工事等流用)

[Co雑割材・ _____] は、 _____ 市・町・村 _____ 地内 _____ 王事で使用するものとする。

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ のバイオマス発電燃料加工施設への搬出 (片道運搬距離 _____ km) を想定し、1t 当たり _____ 円を見込んでいます。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。
 なお、公共王事で伐採する支障木は、一般木質バイオマスとして区分される。一般木質バイオマスであることは、立木の所有者 (鳥取県) 自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合連合会が登録・審査した認定団体でなければならない。当該王事は、[所有者 (鳥取県) ・伐採・運搬を行う者] により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は _____ 市・町・村 _____ 地内の _____ への搬出 (片道運搬距離 _____ km) を想定し _____ 円を見込んでいます。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合の理由を付して協議すること。

建設副産物の処理

<p>建設副産物の使用</p>	<p>①（建設発生土の使用） _____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。</p> <p>②（再生資材の使用） ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。 ウ 再生クラッシュラン〔規格：Rc _____〕は、使用箇所：_____に使用する。 エ 再生コンクリート砂〔規格：RS _____〕は、使用箇所：_____に使用する。 オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。 キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。 タ 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。</p>
<p>工事用道路</p>	<p>①（農地の一時転用について） 本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。 【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。（該当がなければ記載を削除）】</p> <p>受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。</p> <p>②（農地の賃貸借） ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。 イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。 ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。 エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。 オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。</p>
<p>その他</p>	<p>①（自社施工） 本工事においては、_____（※）_____工（_____工を除く）のうち少なくとも_____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。 ※該当する細別（レベル4）を記載する。</p> <p>②（工事名称） 工事標示板に記載する名称は、<u>県道大山淀江インター線支障水道施設移転工事</u>とする。 なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。</p>

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。
 イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。
 ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合には、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事
 イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）
 ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事
 エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）
 オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。
 重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。
 なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、_____(対象工事の区分を記載)_____
 工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
 ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。
 電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。
 オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

情報共有システム（以下「システム」という。）を利用すること。
 ただし、情報共有システムの利用を希望しない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

の
他

⑪ (建設機械の賃料の採用単価)

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。
 通常単価を採用した建設機械〔無し・有り()〕
 イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
 本工事の()工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格()t吊)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価()月号、()頁)を採用し、本工事の()工で使用を想定している高所作業車(規格())の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価()月号、()頁)を採用している。

⑫ (現場環境改善)

本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。
 下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。
 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。
 また、主に現場の施設や設備に対する熱中症対策・防寒対策に関する費用については、率分の計上ではなく、契約変更時に対策の妥当性を確認の上、積み上げ計上を行う。施設・設備の種類や規模及び設置期間については、監督員と協議の上、決定する。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舎の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

⑬ (熱中症対策)

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
 また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑭ (現場管理費補正)ー

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

⑮ (日本芝生産地への配慮)ー

日本芝の生産に配慮した植生王について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生王にバミューダグラスの使用を禁止する。

アー〔張芝王・筋芝王〕は、日本芝の〔野芝・高麗芝〕を使用すること。

イー〔植生基材吹付王・客土吹付王・種子散布王・枠内吹付王〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウー〔わら芝王・植生シート王・植生マット王〕に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m2当り〃〃円を見込んでいます。

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])ー

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)ー

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

その他

⑱ (標示板の設置)ー

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け)国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長事務連絡)を参考にすること。

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])ー【災害復旧工事、受託工事は対象外(当該項目を削除する)】

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳ (遠隔臨場)ー

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

㉑ (施工管理システム)

本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

※ 明示する項目を〃〃部分に記入または追記し、不要部分は「ー」で削除して使用すること。

第 1 総 括

本工事の仕様指示に当り、その優先順位を次の通りとする。

1. 特記仕様書
2. 水道工事標準仕様書（平成22年 日本水道協会発行による。）
3. 共通仕様書（令和6年4月1日 鳥取県土木共通仕様書による。）
4. 工事図面（別添の通り）
5. 工事明細書（別添の通り）
6. その他指示事項

第 2 特 記 仕 様 書

1. 工 事 名 県道大山淀江インター線支障水道施設移転工事
2. 工事場所 西伯郡 大山町 末長
3. 工 期 令和 年 月 日～令和 年 月 日
4. 工事概要 本工事の概要は、次の通りである。

工 種	構 造	形 状 寸 法	数 量
φ150mm配水管布設	DCIP-GX	φ150mm	5.8m
	HPPE	φ150mm	14.0m
φ75mm配水管布設	HPPE	φ75mm	3.1m
80Aステンレス管布設	SUS304 Sch20s	80A	3.3m
消火栓設置	アングルバルブ	φ65	2基

5. 各種仕様

(1) 管材の規格

ダクタイル鋳鉄管	JWWA G 120
同上異形管	JWWA G 121
水道配水用ポリエチレン管	JWWA K 144
同上異形管	JWWA K 145

(2) 骨 材

埋戻用……………真砂土
路盤用……………RCC-30、M-30

6. その他

(1) 転圧工

埋戻用……………タンバ 20cm×5回転圧
路盤用……………タンバ 10cm×10回転圧

(2) アスファルト混合物

密粒度アスコン (13mm TOP) ……As量 4.5~5.0%
粗粒度アスコン (13mm TOP) ……As量 4.5~5.0%

※アスファルト混合物は、再生材を用いる事。

(3) 成果品

提出すべき成果品は、別添『工事施工管理基準仕様書』によるものとし、提出部数は1部とする。

(4) 水圧テスト

水圧テストの対象区間はφ50mm以上の管路の本設区間とする。水圧テストは発注者側監督員の立会いのもとで行なう。水圧テストは以下の要領で番号順に行なう。

- ①空気弁を開放し、排気状態を確認しながら徐々に充水する。
- ②充水後も空気弁を開放状態にして空気が完全に抜けるのを待つ。
- ③空気が完全に抜けたことを確認して試験水圧により初期加圧を行なう。
- ④加圧後24時間放置する。
- ⑤24時間後、試験水圧まで再加圧し、その後さらに24時間放置する。
- ⑥24時間後、圧力値を計測する。

水圧テストの試験水圧及び合否基準は以下のとおりとする。

試験水圧 (kg・f/cm²) …… 水圧テスト対象区間の最大静水圧 + 5.5kg・f/cm² (1寸管、2寸管は2.5kg・f/cm²)
合否基準。

$P_h \geq 0.7P$ …… 合格

P : 試験水圧

P_h : 上記⑥による実測圧力値

水圧テストの結果が不合格の場合は、原因究明のうえ適正な処置を行ない再試験する。それでも不合格の場合は発注者と協議し、発注者の指示により必要な処理を行なう。

(5) コンクリートは、原則として生コンを使用する。

セメントは、高炉セメントB種を使用するものとし、混和剤及びAE剤については、監督員が必要に応じてその種類、量及び空気量について指示する。設計基準強度、その他については下表による。

呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材最大寸法 (mm)	使用箇所
18	8	40	床均しコンクリート
18	8	40	無筋構造物・小構造物
21	8	20~25	鉄筋構造物
24	8	20	鉄筋構造物

生コン使用に当たっては、次の各表を提出するものとする。

(ただし、JIS A5308によるものは、下記(ロ)、(ハ)、(ニ)を除く。)

- (イ) レディミクストコンクリート使用承認願
- (ロ) レディミクストコンクリート配合報告書
- (ハ) 骨材試験成績表
- (ニ) セメント試験成績表

(6) 用地及び付帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地、及びこれに伴う費用、付帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

(7) 工事用機械

- ① 施工中の重機械の搬出は、監督員と協議のうえ行うこと。
- ② 工事の遂行上監督員が必要と認め指示した重機械は、直ちに搬入しなければならない。

(8) 工事施工

① 施工管理

別添『工事施工管理基準仕様書』による。

(9) 道 路

資材機械等の運搬に際し既存道路、及び構造物等を破損した場合は、請負者の負担において速やかに補修し、通行に支障がないようにしなければならない。

なお、交通制限等の必要のある場合は、あらかじめ監督員の承認を受け、且つ所要の手続きは、監督員を經由して関係機関に行うものとする。

(10) その他補償工事等

①地区内にあるN T T柱、中電柱等及び諸施設の移転について工事の工程で本工事に不都合を生ずる場合は事前に監督員に連絡し、みだりに関係諸機関の了解を受けずに移動若しくは取り除いてはならない。

②工事中諸施設を破損した場合は、完成者及び関係各機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し、監督員に速やかに報告すること。

③工事施工に伴い、地区内の農業用小施設及び物件（ハデ木小屋・サイロ・立木等）の取り払い移動については監督員の指示により施工しなければならない。

④工事中に重機械等の移動等により工事完成部を破損した場合等は、速やかに監督員に届け、直ちに修復しなければならない。この場合、監督員の確認が必要である。

⑤工事施工について、その期間中所定の様式に従い、日報を提出しなければならない。

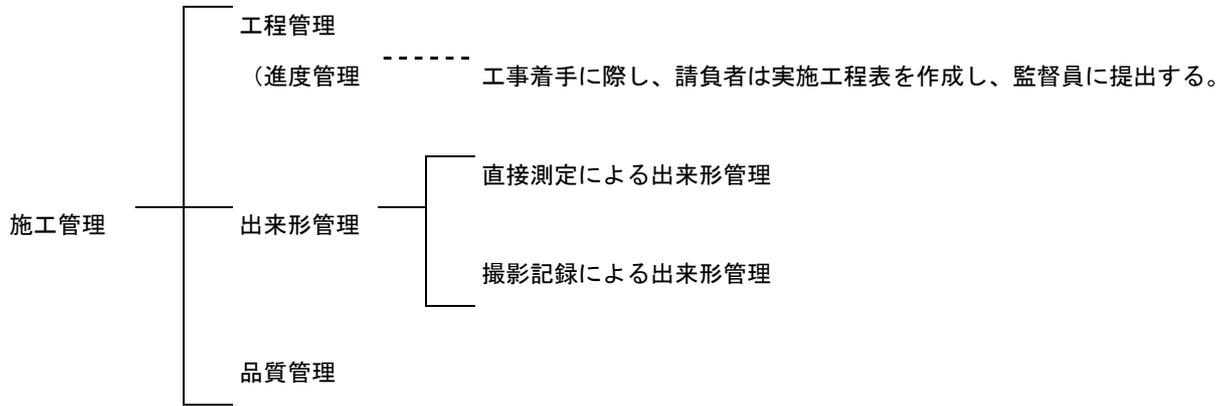
⑥工事打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。

打合せ簿に記載されない事項については変更の対象としない。

工事施工管理基準仕様書

1. この施工管理基準は、土木工事の施工の近代化に即応して工事の出来形及び品質の向上を図るため、請負者が実施する施工管理の基準を示すものである。

2. 施工管理の基本構成は、次のとおりである。



(1) 工程管理とは、指定期日、手持資材を考慮し、工事施工達成に必要な作業の手順及び日程を定め、工程計画表を作成し、工事実施途中で計画と実績を比較検討し、必要な処理を取ることをいう。

(2) 直接測定による出来形管理とは、工事の出来形を把握するため工作物の寸法、凸凹、勾配基準高等を施工の順序に従って直接測定し、逐次その結果一覧表に記録し、常期的確な管理を行うことをいう。

(3) 撮影記録による出来形管理とは、出来形測定、品質管理を実施した場合、又は施工段階及び施工の進行過程を確認するため必要に応じ撮影記録を行うことをいう。

(4) 品質管理とは、資材等の品質を把握するため物理的、化学的試験を実施し、その都度その結果を管理図表、又は結果一覧表に記録し、常によりの確な管理を行うことをいう。

3. 施工管理の実施に当たって、請負者は、当該工事に施工管理責任者を定め、監督者に通知するものとする。施工管理を掌握し、この基準に従い善良な管理を実施しなければならない。

(1) 出来形管理、品質の実施は、次項4によるものとする。なお、本仕様書に明示されていない事項については、監督者の指示によるものとする。

(2) 施工管理は工事の進行に伴い、速やかに実施し、その結果を監督員に報告し、確認を受けるものとする。監督員は請負者の管理記録を重視（書類チェック）し、必要に応じランダムに現場で検討を行うものとする。

(3) 出来形測定及び試験等の測定値がはなはだしく偏向する場合、ばらつきが大きい場合は、その原因を是正し常に所要の品質規格が得られるよう努めなくてはならない。

(4) 竣工検査、記載部分検査に際しては、管理図表、又は結果一覧表等を整備し、提出するものとする。

4. 施工管理基準及び管理方式

(1) 直接測定による出来形管理

イ) 不可視部分の測定に当たっては、測定時期を逸しないよう特に注意しなければならない。

ロ) 出来形測定に当たっては、測定誤差等を極力少なくするように努め、測定機器を常に点検整備しておかなければならない。

ハ) 出来形測定管理は、出来形管理基準により行うものとする。

(2) 撮影記録による出来形管理

イ) 工事写真は、工事そのものが設計図書どおり施工されたかどうかの点を確認、又は判定するための重要な証拠資料となるものであるから、誰が見ても形状寸法等が明確に把握でき、場所、時期等の確認判定ができるよう撮影しなければならない。

ロ) 写真撮影は、撮影管理基準によるものとする。

(3) 品質管理

イ) コンクリート関係

- ① 品質管理の結果は、その都度施工管理記録に整理し、監督員に提出しその承認を受けるものとする。
- ② 品質管理の結果は、直ちに施工管理に反映させて常に所要の品質規格が得られるように努めなければならない。
- ③ 品質管理を必要とする項目及び(測定)基準は、品質基準により行うものとする。

ロ) 二次製品関係

- ① J I S規格製品は、コンクリートの配合表筋等の規格証明書製品の強度試験実施時の写真を添付した報告書を管理基準の内容のものと照合、確認するものとする。
- ② 形状、外観は現場搬入時において確認しなければならない。
- ③ J I S規格同等品、及びJ I S規格外製品についてもJ I S規格製品に準じ試験を行い、試験結果を提出し、品質の確認を受けなければならない。
- ④ 製品には、原則として製造工場、又はその略写呼名及び製造年月日を明示したものとする。

工種	名称	形状寸法	単位							備考
				数量	単価	金額	数量	単価	金額	
労務費	鑄鉄管据付工	φ150	m	5.8						代価表第K-1号
	GX形継手工	直管 φ150	口	1						代価表第K-2号
	GX形継手工	異形管 φ150	口	1						代価表第K-3号
	GX形継手工	異形管(G-Link接合) φ150	口	1						代価表第K-4号
	鑄鉄管切断工	エンジンカッター φ150	口	2						代価表第K-5号
	ホリエレン管据付工	融着 φ75	m	4.1						代価表第K-6号
	ホリエレン管据付工	融着 φ150	m	1.6						代価表第K-6号
	ホリエレン管継手工	融着継手(2口) φ150	箇所	1						代価表第K-7号
	ホリエレン管継手工	融着継手(1口) φ75	口	7						代価表第K-8号
	ホリエレン管継手工	融着継手(1口) φ150	口	2						代価表第K-8号
	ホリエレン管切断工	φ75	口	2						代価表第K-9号
	ホリエレン管切断工	φ150	口	3						代価表第K-9号
	メカニカル継手工	φ75	口	1						代価表第K-10号
	メカニカル継手工	φ150	口	3						代価表第K-10号
	ホリエレン管 メカニカル継手工	φ75	口	1						代価表第K-11号
	ホリエレン管 メカニカル継手工	φ150	口	3						代価表第K-11号
	小口径 鋼管据付工	人力 80A	m	0.8						代価表第K-12号
	ステンレス管切断工	80A	口	1						代価表第K-13号
	小口径 ねじ切工	80A	口	1						代価表第K-14号
	小口径管 ねじ込接合工	65A	口	1						代価表第K-15号
	小口径管 ねじ込接合工	80A	口	1						代価表第K-15号
	小型消火栓設置工	人力 φ65	基	1						代価表第K-19号
	消火栓機 硬質塩化ビニル管切断工	φ250	口	1						代価表第K-20号
	ホリエレンスリーブ 被覆工	φ150	m	2.7						代価表第K-21号
	管明示テープ工	DCIP φ150	m	2.7						代価表第K-22号
	管明示テープ工	HPPE φ75	m	4.1						代価表第K-23号
	管明示テープ工	HPPE φ150	m	1.6						代価表第K-23号
	埋設標識シート工		m	8.6						代価表第K-24号
	ロケーティングワイヤー工		m	5.7						代価表第K-25号
	人力 コンクリート打設工	小型構造物 σ18-8-40	m3	0.1						代価表第D-1号
	基礎砕石工	RC-40 t=10cm	m2	0.1						代価表第D-3号
	小計									
	計									

第 K-1 号代価表

鑄鉄管据付工（機械力）

1.0m当り

名 称	単位	単 価	75mm以下		100mm		150mm		200mm		250mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.06		0.07		0.09		0.10		0.11		
普 通 作 業 員	〃		0.13		0.13		0.15		0.16		0.17		
クレーン付トラック4t積.2.9t吊	時間		1.21		1.21		1.34		1.41		1.47		
計													
1 m当り													

名 称	単位	単 価	300mm		350mm								摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額							
配 管 工	人		0.13		0.17								
普 通 作 業 員	〃		0.19		0.25								
クレーン付トラック4t積.2.9t吊	時間		1.54		1.61								
計													
1 m当り													

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 51

第 K-2 号代価表

G X 継手接合工（直管）

1.0m当り

名 称	単位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm		250mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.05		0.05		0.05		0.06		0.07		
普通作業員	〃		0.05		0.05		0.05		0.06		0.07		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の%
計													

名 称	単位	単 価	300mm		350mm		400mm		450mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額			
配管工	人		0.09		0.09		0.10		0.10				
普通作業員	〃		0.09		0.09		0.10		0.10				
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0				労務費の%
計													

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 56

名 称	単位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm		250mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.05		0.05		0.06		0.07		0.08		
普通作業員	〃		0.05		0.05		0.06		0.07		0.08		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

名 称	単位	単 価	300mm		350mm		400mm		450mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額			
配管工	人		0.09		0.11		0.12		0.13				
普通作業員	〃		0.09		0.11		0.12		0.13				
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0				労務費の %
計													

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 56

名 称	単位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm		250mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
GX継手接合工 (異形管)	口		1.60		-	-	-	-	-	-	-	-	第 号
〃	〃		-	-	1.60		-	-	-	-	-	-	〃
〃	〃		-	-	-	-	1.60		-	-	-	-	〃
〃	〃		-	-	-	-	-	-	1.60		-	-	〃
〃	〃		-	-	-	-	-	-	-	-	1.60		〃

名 称	単位	単 価	300mm		350mm		400mm		450mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額			
GX継手接合工 (異形管)	口		1.60		-	-	-	-	-	-			第 号
〃	口		-	-	1.60		-	-	-	-			〃
〃	口		-	-	-	-	1.60		-	-			〃
〃	口		-	-	-	-	-	-	1.60				〃

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 56

鑄鉄管切断工（エンジンカッター）

名 称	単 位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
特殊作業員	人		0.03		0.03		0.03		0.04		0.05		
普通作業員	〃		0.06		0.06		0.06		0.08		0.09		
機械損料	日		0.03		0.03		0.03		0.04		0.05		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

名 称	単 位	単 価	250mm		300mm		350mm		400mm		450mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
特殊作業員	人		0.05		0.06		0.07		0.07		0.08		
普通作業員	〃		0.10		0.18		0.20		0.22		0.24		
機械損料	日		0.05		0.06		0.07		0.07		0.08		
諸雑費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 89

機械損料 = 運転1日当り換算損料率 × 基礎価格

ポリエチレン管据付工（融着継手）

名 称	単 位	単 価	20mm		25mm		30mm		40mm		50mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.07		0.07		0.08		0.08		0.10		
普通作業員	〃		0.12		0.12		0.14		0.14		0.18		
計													
1m当り													

名 称	単 位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.10		0.12		0.18		0.25				
普通作業員	〃		0.18		0.20		0.26		0.49				
計													
1m当り													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 86

第 K-7 号代価表

ポリエチレン管継手工(融着継手)

1箇所(2口)当り

名 称	単 位	単 価	20mm		25mm		30mm		40mm		50mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
普通作業員	〃		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

名 称	単 位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.08		0.12		0.14		0.14				
普通作業員	〃		0.08		0.12		0.14		0.14				
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0				労務費の %
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.86

第 K-8 号代価表

ポリエチレン管継手工(融着継手)

1口当り

名 称	単 位	単 価	20mm		25mm		30mm		40mm		50mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
普通作業員	〃		0.04		0.04		0.06		0.06		0.08		
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													
1口当り													

名 称	単 位	単 価	75mm		100mm		150mm		200mm				摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配管工	人		0.08		0.12		0.14		0.14				
普通作業員	〃		0.08		0.12		0.14		0.14				
諸雑費 (機械器具損料・消耗品)	式		1.0		1.0		1.0		1.0				労務費の %
計													
1口当り													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.86

ポ リ エ チ レ ン 管 切 断 工

名 称	単位	単 価	13mm		20mm		25mm		30mm		40mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
普 通 作 業 員	〃		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

名 称	単位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.01		0.01		0.02		0.02		0.02		
普 通 作 業 員	〃		0.01		0.01		0.02		0.02		0.02		
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の % φ75以上は %
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.97

メ カ ニ カ ル 継 手 工

名 称	単位	単 価	75mm以下		100mm		150mm		200mm		250mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.05		0.05		0.06		0.07		0.08		
普 通 作 業 員	〃		0.05		0.05		0.06		0.07		0.08		
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

名 称	単位	単 価	300mm		350mm		400mm		450mm		500mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.09		0.09		0.10		0.11		0.12		
普 通 作 業 員	〃		0.09		0.09		0.10		0.11		0.12		
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.54

名 称	単 位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.04		0.04		0.04		0.05		0.06		
普通作業員	〃		0.04		0.04		0.04		0.05		0.06		
諸 雑 費	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の %
計													

名 称	単 位	単 価											摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人												
普通作業員	〃												
諸 雑 費	式												
計													

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 86

名 称	単 位	単 価	13mm		20mm		25mm		32mm		40mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.10		0.11		0.13		0.14		0.15		
普通作業員	〃		0.10		0.12		0.13		0.14		0.16		
計													
1m当り													

名 称	単 位	単 価	50mm		65mm		80mm		100mm		150mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.18		0.19		0.20		0.23		0.30		
普通作業員	〃		0.18		0.20		0.23		0.25		0.35		
計													
1m当り													

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 65

第 K-13 号代価表

鋼 管 切 断 工

1口当り

名 称	単位	単 価	13mm		20mm		25mm		32mm		40mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.01		0.01		0.01		0.01		0.02		
普 通 作 業 員	〃		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
雑 材 料	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の3%
計													

名 称	単位	単 価	50mm		65mm		80mm		100mm		125mm・150mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.02		0.03		0.03		0.03		0.04		
普 通 作 業 員	〃		0.01		0.01		0.02		0.02		0.03		
雑 材 料	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の3%
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 65

第 K-14 号代価表

鋼 管 ね じ 切 り 工

1口当り

名 称	単位	単 価	13mm		20mm		25mm		30mm		40mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.03		0.03		0.04		0.04		0.04		
普 通 作 業 員	〃		0.02		0.02		0.03		0.04		0.04		
雑 材 料	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の3%
計													

名 称	単位	単 価	50mm・65mm		80mm		100mm		125mm		150mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.05		0.05		0.06		0.07		0.08		
普 通 作 業 員	〃		0.05		0.05		0.06		0.07		0.08		
雑 材 料	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の3%
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 66

鋼管ねじ込み工

名 称	単位	単 価	13mm		20mm		25mm		30mm		40mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.02		0.02		0.02		0.02		0.02		
普通作業員	"		0.04		0.04		0.04		0.04		0.04		
雑 材 料	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の3%
計(2口)													
計													

名 称	単位	単 価	50mm・65mm		80mm		100mm		125mm		150mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.02		0.03		0.03		0.03		0.05		
普通作業員	"		0.05		0.05		0.06		0.07		0.08		
雑 材 料	式		1.0		1.0		1.0		1.0		1.0		労務費の3%
計(2口)													
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 68

仕 切 弁 設 置 工 (人 力)

名 称	単位	単 価	50mm		75mm		100mm		125mm		150mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.03		0.05		0.07		0.09		0.10		
普通作業員	"		0.15		0.19		0.23		0.30		0.37		
計													

名 称	単位	単 価	200mm		250mm		300mm		350mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
配 管 工	人		0.17		0.24		0.37		0.53		
普通作業員	"		0.45		0.61		0.90		1.27		
計											

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 99

名 称	単位	単 価	円形 φ250mm		円形 φ350mm		円形 φ500mm		円形 φ600mm		円形 φ700mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普通作業員	人		0.06		0.08		0.10		0.11		0.13		
モルタル	m ³		0.003		0.004		0.007		0.009		0.01		
計													

名 称	単位	単 価	角形 1号		角形 2号		角形 3号						摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額		金 額		金 額	
普通作業員	人		0.10		0.14		0.14						
モルタル	m ³		0.006		0.007		0.008						
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 102

名 称	単位	高さ	H=1100mm		H=1200mm		H=1350mm						摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
調整リング	個	50					1.00						
調整リング	個	100											
上部壁	個	150	1.00		1.00		1.00						
中部壁	個	100					1.00						
中部壁	個	200	1.00										
中部壁	個	300			1.00		1.00						
下部壁	個	300	1.00		1.00		1.00						
上下部壁	個	150											
底板	個	60	1.00		1.00		1.00						
計													

名 称	単位	単 価	H=1100mm		H=1200mm		H=1350mm						摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普通作業員	〃		0.04		0.04		0.06						
計													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 100

第 K-19 号代価表

消火栓設置工（機械施工）

1基当り

名称	単位	単価	地下式単口		地下式双口		地上式単口		地上式双口		小型消火栓		摘要
			数量	金額									
配管工	人		0.08		0.09		0.20		0.22		0.08		
普通作業員	〃		0.10		0.11		0.23		0.25		0.10		
トラックレン4t積, 2.9t吊	時間		0.31		0.31		0.57		0.73		0.31		物価資料
諸雑費	式		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		労務費の%
計													

第 号代価表

消火栓設置工（人力施工）

1基当り

名称	単位	単価	地下式単口		地下式双口		地上式単口		地上式双口		小型消火栓		摘要
			数量	金額									
配管工	人		0.12		0.19		0.27		0.40		0.10		
普通作業員	〃		0.26		0.36		0.53		0.71		0.22		
諸雑費	式		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		労務費の%
計													

令和7年度 水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 98

第 K-20号代価表

硬質塩化ビニル管切断工

1口当り

名称	単位	単価	13mm		16mm		20mm		25mm		30mm, 40mm		50mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
配管工	人		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
普通作業員	〃		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		0.01		
諸雑費	式		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		
計															

名称	単位	単価	75mm		100mm, 125mm		150mm		200mm		250mm		300mm		摘要
			数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
配管工	人		0.02		0.02		0.02		0.02		0.02		0.03		
普通作業員	〃		0.02		0.02		0.02		0.02		0.02		0.03		
諸雑費	式		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		1.00		
計															

令和7年度水道施設整備費国庫補助事業に係る歩掛表P. 97

第 K-21 号代価表

φ150mm ポリスリーブ被覆工

100m 当り

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
配 管 工		0.35	人			
普 通 作 業 員		0.35	人			
ポリスリーブ	水道用	144.0	m			
粘着テープ	巾19mm	83.6	m			
計						100m当り
1m当り						／100m

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 60

$$\text{ポリフレックスリーブの数量 } A = \frac{L2(1+a)}{L1} \times 100.0\text{m} = 144.0\text{m}$$

L1 : 直管長 (m/本) = 5.0m

L2 : 管 1 本当りスリーブ長 (m) = 6.0m

a : ポリフレックスリーブ割増係数 = 0.2

第 K-22 号代価表

鑄鉄管・鋼管管 明示テープ工

100m 当り

名 称	単 位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普 通 作 業 員	人		0.09		0.11		0.12		0.11		0.12		
計													
1m当り													

名 称	単 位	単 価	250mm		300mm		350mm		400mm		450mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普 通 作 業 員	人		0.12		0.11		0.12		0.17		0.17		
計													
1m当り													

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P. 65

名 称	単位	単 価	50mm		75mm		100mm		150mm		200mm		摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	
普通作業員	人		0.09		0.10		0.10		0.11		0.12		
計													
1m当り													

名 称	単位	単 価											摘 要
			数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額	

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.87

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		0.40	人			
計						
1m当り						

令和7年度水道施設整備費等国庫補助事業に係る歩掛表P.66

名 称	形 状 寸 法	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
普通作業員		0.10	人			
ロケーティングワイヤー	φ3.4mm	110.0	m			
計						
1m当り						

第 D-2 号代価表

代価表

生コンクリート
18-8-40(普通) 生コンクリート小型車割増無

2号代価表

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
生コンクリート(普通) 18-8-40	m3					[建設物価R08.02.P105:鳥取,積算資料R08.02.P1
計						
1 m3 当り						
生コンクリート規格 18-8-40(普通) : 生コンクリート(普通) ; 生コンクリートの夜間割増の有無 : 無	18-8-40					
生コンクリート小型車割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート山岳割増額の計上 : 計上しない						
生コンクリート冬期加熱費計上区分(標準=なし) : 計上しない						

第 D-5 号代価表

バックホ舗装版直接掘削・積込 山積0.28m3
舗装厚0cm超え10cm以下

代価表

5号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
バックホ(排対2次) クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				1号単価表 36頁	
諸雑費	式				調整金	
計						
1 m2 当り						
舗装厚：0cm超え10cm以下 舗装版掘削・積込：山積0.28m3(平積0.20m3) (バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値) バックホ運転費：バックホ(排対2次)；クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)						
バックホ(日/100m2)：S3a = 100 / 194 = 0.515						

第 D-6 号代価表

管路掘削バックホ掘削積込
クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)

代価表

6号代価表

100 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
バックホ(排対2次) クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間				2号単価表 39頁	
諸雑費	式				調整金	
計						
1 m3 当り						
バックホ機種：クロー型山積0.28m3 (バックホ)排ガス機械の選択：排ガス対策型(第2次基準値) バックホ：バックホ(排対2次)；クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)						
バックホ運転(日/100m3)：S3a = 1*1.69491525423729 = 1.695						
100m3当りの作業日数(日)：LD = 100/59 = 1.69491525423729						
1日当り損料又は賃料数量(供用日)入力：Sd2 = 0/0 = 0						
1日当り燃料又は電力数量(L, kWh)入力：Nd2 = 0*0 = 0						

第 D-11 号代価表

代価表

仮舗装 アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
車道 厚30mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

11号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
アスファルト合材 再生密粒度アスコン(13)	t					[R07.10] [J01016 TTTPC00024]
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	L					[(参考:物資R07.10)] [P28003 TTTPC00026]
振動ローラ ハンドガイト式・質量0.5~0.6t	日				5号単価表 46頁	
振動コンパクタ 前進型・質量40~60kg	日				6号単価表 48頁	
諸雑費	%				諸雑費	瀝青材散布、舗装用器具、補助機械等
計						
1 m2 当り						
施工場所区分(歩車道)：車道・路肩；アスファルト混合物補正係数 As混合物選択 車道：再生密粒度アスコン；締固め密度(t/m3) 再生密粒度アスコン：アスファルト合材；再生密粒度アスコン(13) アスファルト混合物小型車割増額の計上：計上しない						

第 D-11 号代価表

代価表

仮舗装 アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
車道 厚30mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

11号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
アスファルト混合物夜間割増額の計上：計上しない 1層当り仕上り厚さ(mm)：t=30mm						
アスファルト混合物の単位選択：「t」単位材料単価 瀝青材の散布の確認：散布する 瀝青材材料費計上区分：計上する タック、プライムの選択：プライム						
瀝青材単価の単位：L単位の瀝青材材料費 プライムコート(L)：アスファルト乳剤；PK-3 プライムコート用 100m2当りプライムコート数量(L)：R4=126L 砂散布の選択：砂散布無し；砂散布费率(%)						
振動ローラ運転費：振動ローラ；ハンドガイト式・質量0.5~0.6t 振動コンパクタ運転費：振動コンパクタ；前進型・質量40~60kg 代価表の選択(標準=100m2)：アスファルト舗装100m2当り代価表						
一般世話役(人/100m2又は1日)：S1 = 1*0.4*1 = 0.4 特殊作業員(人/100m2又は1日)：S2 = 2*0.4*1 = 0.8 普通作業員(人/100m2又は1日)：S3 = 4*0.4*1 = 1.6 瀝青材(L・t/100m2又は1日)：S4 = 100*126/100*1 = 126 振動ローラ(日/100m2又は1日)：S5 = 1*0.4*1 = 0.4 振動コンパクタ(日/100m2又は1日)：S6 = 2*0.4*1 = 0.8 代価表当り数量(m2)：AT = 100*1+250*(1-1) = 100 100m2又は1日当り作業日数(日/100m2・1日)：LD = 100/250 = 0.4 仕上り層数(層)：SS = (30+0*10)/30 = 1 1層当り仕上り厚さ(mm/1層)：tA = if(1== 0, 0, 30+0*10) = 30 層数区分の判断：tS = 0-(30+0*10) = -30 As混合物(各単位/100m2又は1日)：S8 = 7.54*1+7543.5*0+107*0+100*0 = 7.54						

第 D-12 号代価表

代価表

仮舗装 アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
歩道 厚30mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

12号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
アスファルト合材 再生密粒度アスコン(13)	t					[R07.10] [J01016 TTTPC00024]
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	L					[参考:物資R07.10] [P28003 TTTPC00026]
振動ロー ハンドガイト式・質量0.5~0.6t	日				5号単価表 46頁	
振動コンパクタ 前進型・質量40~60kg	日				6号単価表 48頁	
諸雑費	%				諸雑費	瀝青材散布、舗装用器具、補助機械等
計						
1 m2 当り						
施工場所区分(歩行道)：歩道；アスファルト混合物補正係数 As混合物選択 歩道：再生密粒度アスコン；締固め密度(t/m ³) 再生密粒度アスコン：アスファルト合材；再生密粒度アスコン(13) アスファルト混合物小型車割増額の計上：計上しない						

第 D-12 号代価表

代価表

仮舗装 アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
歩道 厚30mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

12号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
アスファルト混合物夜間割増額の計上：計上しない 1層当り仕上り厚さ(mm)：t=30mm						
アスファルト混合物の単位選択：「t」単位材料単価 瀝青材の散布の確認：散布する 瀝青材材料費計上区分：計上する タック、プライムの選択：プライム						
瀝青材単価の単位：L単位の瀝青材材料費 プライムコート(L)：アスファルト乳剤；PK-3 プライムコート用 100m2当りプライムコート数量(L)：R4=126L 砂散布の選択：砂散布無し；砂散布费率(%)						
振動ロー運転費：振動ロー；ハンドガイト式・質量0.5~0.6t 振動コンパクタ運転費：振動コンパクタ；前進型・質量40~60kg 代価表の選択(標準=100m2)：アスファルト舗装100m2当り代価表						
一般世話役(人/100m2又は1日)：S1 = 1*0.4*1 = 0.4 特殊作業員(人/100m2又は1日)：S2 = 2*0.4*1 = 0.8 普通作業員(人/100m2又は1日)：S3 = 4*0.4*1 = 1.6 瀝青材(L・t/100m2又は1日)：S4 = 100*126/100*1 = 126 振動ロー(日/100m2又は1日)：S5 = 1*0.4*1 = 0.4 振動コンパクタ(日/100m2又は1日)：S6 = 1*0.4*1 = 0.4 代価表当り数量(m2)：AT = 100*1+250*(1-1) = 100 100m2又は1日当り作業日数(日/100m2・1日)：LD = 100/250 = 0.4 仕上り層数(層)：SS = (30+0*10)/30 = 1 1層当り仕上り厚さ(mm/1層)：tA = if(1== 0, 0, 30+0*10) = 30 層数区分の判断：tS = 0-(30+0*10) = -30 As混合物(各単位/100m2又は1日)：S8 = 7.26*1+7260*0+110*0+100*0 = 7.26						

第 D-13 号代価表

発生土処分工 ダンプ 4t BH0.28m3
2.7km 土砂 普通 DID無

代価表

13号代価表

10 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダンプトラック 普通 オンロード・タイヤセトル・積載質量4t積級	日				7号単価表 50頁	
諸 雑 費	式				調整金	
計						
1 m3 当り						
規格の選択：4t 運搬距離の適用方法：片道運搬距離(km)を直接入力 片道運搬距離(km)：L=2.7km 積込機種区分 4t：バックホ油圧式クロー型山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間：無し 土質区分：※:土砂；補正係数 代価表形式の選択：施工土量10m3当り代価表 路面の状態：普通 ダンプトラック：ダンプトラック 普通； オンロード・タイヤセトル・積載質量4t積級 処理料金：計上しない						
100・10m3当り運搬日数(日)(補正後)：UN1' = if(4= 10, 100・10m3当り運搬日数(日)(補正後) = 10・0.4 = 4)						

第 D-14 号代価表

発生土処分工 ダンプ 4t BH0.28m3
6.4km As塊 普通 DID無

代価表

14号代価表

10 m3当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
ダンプトラック 普通 オンロード・タイヤセトル・積載質量4t積級	日				7号単価表 50頁	
諸 雑 費	式				調整金	
計						
1 m3 当り						
規格の選択：4t 運搬距離の適用方法：片道運搬距離(km)を直接入力 片道運搬距離(km)：L=6.4km 積込機種区分 4t：バックホ油圧式クロー型山積0.28m3(平積0.2m3) DID区間：無し 土質区分：:As塊；補正係数 損料補正(硬岩・As塊・Co無筋)：補正無し 代価表形式の選択：施工土量10m3当り代価表 路面の状態：普通 ダンプトラック：ダンプトラック 普通； オンロード・タイヤセトル・積載質量4t積級 処理料金：計上しない						
100・10m3当り運搬日数(日)(補正後)：UN1' = if(4= 10, 100・10m3当り運搬日数(日)(補正後) = 10・0.6 = 6)						

第 D-15 号代価表

代価表

整地
残土受入れ地での処理

(15号代価表)

1 m3当り

名 称 ・ 規 格	構成比	積算地区単価	名 称 ・ 規 格 (基準地区単価)	基準地区単価	備 考
K	22.45				
K1	22.45		[賃料]バックホウ クロー型 山積0.8m3(平積0.6m3)		[(参考:物資R07.10)] 建設物価R06.04.P801:関東地区,積算
R	52.33				
R1	52.33		運転手(特殊)		[R7.3] R6.3
Z	25.22				
Z1	25.22		軽油 小型ローリーバトール給油		[(参考:物資R08.02)] 建設物価R06.04.P788:東京23区,積算
作業区分: 残土受入れ地での処理 (バックホウ山積0.80m3)賃料長期割引の適用: 長期割引あり					
軽油 1.2号: 軽油; 小型ローリーバトール給油					
日当り施工量(m3/日) 採用値: QPD = 434*1 = 434					

第 D-16 号代価表

代価表

不陸整正 敷均・締固 1層
施工幅 1.8m未満

16号代価表

100 m2当り

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
タンバ及びランマ(賃料) 質量60~80kg	日				4号単価表 44頁	
諸 雑 費	式				調整金	
計						
1 m2 当り						
施工範囲: 1.8m未満; 不陸整正工(100m2・1層当り):敷均し労務(普通作業員:人),締固め機械(日)						
補足材の計上: 施工費のみ						
タンバ 運転費: タンバ 及びランマ(賃料); 質量60~80kg						
補正後補足材使用量(m3/100m2): DV = 100 *0* (1 +0) = 0						
1層当り仕上り厚さ(m/1層)採用値: t = if(0=>1, 0/100, 0/1000) = 0						

第 D-17 号代価表

代価表

アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
 車道 厚50mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

17号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
アスファルト合材 再生密粒度アスコン(13)	t					[R07.10] [J01016 TTTPC00024]
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	L					[参考:物資R07.10] [P28003 TTTPC00026]
振動ローラ ハンドガイト式・質量0.5~0.6t	日				5号単価表 46頁	
振動コンパクタ 前進型・質量40~60kg	日				6号単価表 48頁	
諸雑費	%				諸雑費	瀝青材散布、舗装用器具、補助機械等
計						
1 m2 当り						
施工場所区分(歩車道)：車道・路肩；アスファルト混合物補正係数 As混合物選択 車道：再生密粒度アスコン；締固め密度(t/m3) 再生密粒度アスコン：アスファルト合材；再生密粒度アスコン(13) アスファルト混合物小型車割増額の計上：計上しない						

第 D-17 号代価表

代価表

アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
 車道 厚50mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

17号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
アスファルト混合物夜間割増額の計上：計上しない 1層当り仕上り厚さ(mm)：t=50mm						
アスファルト混合物の単位選択：「t」単位材料単価 瀝青材の散布の確認：散布する 瀝青材材料費計上区分：計上する タック、プライムの選択：プライム						
瀝青材単価の単位：L単位の瀝青材材料費 プライムコート(L)：アスファルト乳剤；PK-3 プライムコート用 100m2当りプライムコート数量(L)：R4=126L 砂散布の選択：砂散布無し；砂散布费率(%)						
振動ローラ運転費：振動ローラ；ハンドガイト式・質量0.5~0.6t 振動コンパクタ運転費：振動コンパクタ；前進型・質量40~60kg 代価表の選択(標準=100m2)：アスファルト舗装100m2当り代価表						
一般世話役(人/100m2又は1日)：S1 = 1*0.4*1 = 0.4 特殊作業員(人/100m2又は1日)：S2 = 2*0.4*1 = 0.8 普通作業員(人/100m2又は1日)：S3 = 4*0.4*1 = 1.6 瀝青材(L・t/100m2又は1日)：S4 = 100*126/100*1 = 126 振動ローラ(日/100m2又は1日)：S5 = 1*0.4*1 = 0.4 振動コンパクタ(日/100m2又は1日)：S6 = 2*0.4*1 = 0.8 代価表当り数量(m2)：AT = 100*1+250*(1-1) = 100 100m2又は1日当り作業日数(日/100m2・1日)：LD = 100/250 = 0.4 仕上り層数(層)：SS = (50+0*10)/50 = 1 1層当り仕上り厚さ(mm/1層)：tA = if(1== 0, 0, 50+0*10) = 50 層数区分の判断：tS = 0-(50+0*10) = -50 As混合物(各単位/100m2又は1日)：S8 = 12.57*1+12572.5*0+107*0+100*0 = 12.57						

第 D-18 号代価表

代価表

アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
歩道 厚30mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

18号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
土木一般世話役	人					[R7.3] [R01001 RTPC00009]
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
普通作業員	人					[R7.3] [R01003 RTPC00002]
アスファルト合材 再生密粒度アスコン(13)	t					[R07.10] [J01016 TTTPC00024]
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	L					[参考:物資R07.10] [P28003 TTTPC00026]
振動ロー ハンドガイト式・質量0.5~0.6t	日				5号単価表 46頁	
振動コンパクタ 前進型・質量40~60kg	日				6号単価表 48頁	
諸雑費	%				諸雑費	瀝青材散布、舗装用器具、補助機械等
計						
1 m2 当り						
施工場所区分(歩行道)：歩道；アスファルト混合物補正係数 As混合物選択 歩道：再生密粒度アスコン；締固め密度(t/m ³) 再生密粒度アスコン：アスファルト合材；再生密粒度アスコン(13) アスファルト混合物小型車割増額の計上：計上しない						

第 D-18 号代価表

代価表

アスファルト人力舗装 プライム 砂無 1層
歩道 厚30mm 再生密粒As 再生密粒度アスコン(13)

18号代価表

100 m2当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
アスファルト混合物夜間割増額の計上：計上しない 1層当り仕上り厚さ(mm)：t=30mm						
アスファルト混合物の単位選択：「t」単位材料単価 瀝青材の散布の確認：散布する 瀝青材材料費計上区分：計上する タック、プライムの選択：プライム						
瀝青材単価の単位：L単位の瀝青材材料費 プライムコート(L)：アスファルト乳剤；PK-3 プライムコート用 100m2当りプライムコート数量(L)：R4=126L 砂散布の選択：砂散布無し；砂散布费率(%)						
振動ロー運転費：振動ロー；ハンドガイト式・質量0.5~0.6t 振動コンパクタ運転費：振動コンパクタ；前進型・質量40~60kg 代価表の選択(標準=100m2)：アスファルト舗装100m2当り代価表						
一般世話役(人/100m2又は1日)：S1 = 1*0.4*1 = 0.4 特殊作業員(人/100m2又は1日)：S2 = 2*0.4*1 = 0.8 普通作業員(人/100m2又は1日)：S3 = 4*0.4*1 = 1.6 瀝青材(L・t/100m2又は1日)：S4 = 100*126/100*1 = 126 振動ロー(日/100m2又は1日)：S5 = 1*0.4*1 = 0.4 振動コンパクタ(日/100m2又は1日)：S6 = 1*0.4*1 = 0.4 代価表当り数量(m2)：AT = 100*1+250*(1-1) = 100 100m2又は1日当り作業日数(日/100m2・1日)：LD = 100/250 = 0.4 仕上り層数(層)：SS = (30+0*10)/30 = 1 1層当り仕上り厚さ(mm/1層)：tA = if(1== 0, 0, 30+0*10) = 30 層数区分の判断：tS = 0-(30+0*10) = -30 As混合物(各単位/100m2又は1日)：S8 = 7.26*1+7260*0+110*0+100*0 = 7.26						

単価表

バックホ(排対2次)
クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)

1号単価表

1時間当たり

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
運転手(特殊)	人					[R7.3] [R01021 RTPC00006]
軽油 小型ローリー・バトロ給油	L					[参考:物資R08.02] [P34029 TTPC00013]
バックホ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間					[R7建設機械等損料表] [0202-113-020-001]
計						
1時間 当り						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用；11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
1h当り運転労務数量：R2=0.16人/h						
1h当り燃料又は電力消費量：N2=5.9L, kWh 軽油：軽油；小型ローリー・バトロ給油						
1h当り機械数量(h)：S2=1h						
一般又は特殊運転手(人/h)：Rh1 = if(0=1, if(1=0, 0, 1/7), (MIN(1, 1)/MIN(7, 5.8))) = 0.17						
一般又は特殊運転手(人/日)：Rd1 = if(0=1, if(1=0, 0, 1), (MIN(1, 1)/MIN(7, 5.8)*5.8)) = 1						
1h当り消費量(L又はkWh)丸めなし：Nh0 = 41*0.144 = 5.904						
1h当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nh1 = 41*0.144 = 5.9						
1h当り消費量(L又はkWh)整数止め：Nh2 = 41*0.144 = 6						
1日当り消費量(L又はkWh)：Nd = 34.22*1+34*0+34*0+34.2*0 = 34.22						

単価表

バックホ(排対2次)
クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)

1号単価表

1時間当たり

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
1日当り消費量(L又はkWh)丸め無：Nd0 = 5.9*5.8 = 34.22						
1日当り消費量(L又はkWh)小数2位：Nd1 = 5.9*5.8 = 34.22						
1日当り消費量(L又はkWh)整数止：Nd2 = 5.9*5.8 = 34						
1日当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nd3 = 5.9*5.8 = 34						
1日当り消費量(L又はkWh)小数1位：Nd4 = 5.9*5.8 = 34.2						
損料表上の標準のT(h/日)：T0 = 700/120*(1-MIN(0.1, 0)*10)+0 = 5.8						
Tによる補正有無の判定用計算：Tj = 0/5.8 = 0						
供用日当り運転時間(h/日)：t = if(0=1, (0*5.8), if(1=1, if(1=1, 3/9, 3/9), 0)) = 3.9						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位：t0Z = 700/180*(1-MIN(0.1, 0)*10)+0 = 3.9						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁：t0H = 700/180*(1-MIN(0.1, 0)*10)+0 = 3.9						
tによる補正有無の判定用計算：tj = 0/(3.9*1+3.9*(1-1)) = 0						
供用日数率：α2 = if(0=1, 1/0, if(0=1, 5.8/3.9, 180/120)) = 1.5						
1h当り運転日数(日/h)：Sd = 1/5.8 = 0.17						
1h当り供用日数(供用日/h)：Sdt = 1/3.9 = 0.26						
運転1h当り換算損料 13欄から：SnHa = INT(1930*(0/100+1)*10)/10 = 1930						
運転1h当り換算損料 9・11欄から：SnHb = INT(((652*1+4980*1/3.9)*(0/100+1)*10)/10) = 1930						
運転1h当り換算損料 指定13欄：SnHb2 = INT((0+4980*(1-1)/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 0						
運転1日当り換算損料(円/日)：SnD = (11300*1+11200*(1-1))*1+11200*(1-1) = 11300						
運転1日当り換算損料 15欄から：SnDa = INT(7520*1.5*(0/100+1)*10)/10 = 11300						
運転1日当り換算損料 9・11欄から：SnDb = INT(5.8*((652*1+4980*1/3.9)*1*(0/100+1)*10)/10) = 11200						
運転1h当り損料(円/h)丸め：UgSa = INT(if(0=0, (6090000*107*10^(-6)), 0)*1*10)/10 = 652						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(4980*1*1*10)/10 = 4980						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = 4980*MIN(0, 1)+4980*(1-MIN(0, 1)) = 4980						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(6090000*818*10^(-6)*10)/10 = 4980						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSf = INT(6090000*818*10^(-6)*10)/10 = 4980						
供用1日当り損料率(概算)(*10^6)：Knr1 = 4980/(6090*1000)*10^6 = \$18						
供用1日損料切替(0=特殊加減なし)：KnSS = (0*0)^(1/2) = 0						
補正後基礎価格(円/台)丸め：KKa = INT((6090*1000+0)*10)/10 = 6090000						

単価表

バツ納(排対2次)
ク-7型・山積0.28m3(平積0.2m3)

1号単価表

1時間当たり

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $b1 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $b2 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
NEXCO独自損料(運転)(円/h)丸め : $Ynx9 = INT(652*1*(0/100+1)*10)/10 = 652$						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : $Ynx11 = INT(4980*1*(0/100+1)*10)/10 = 4980$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h) : $YNXAh = (1930-INT(1*652)-INT(0.26*4980))*if(0==1,1,1) = -16$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日) : $YNXAD = (11300-1N5.8(1*652)-INT(1.5*4980))*if(0==1,1,0) = 0$						
・1日当り賃料(円/日)(計算後) : $RE = 0/if(0==1,0,1) = 0$						
・1日当り無償貸与機械評価額(円) : $MKD = 11300-0 = 11300$						
・1h当り無償貸与機械評価額(円/h) : $MKK = 1930-0 = 1930$						
1日当り無償貸与機械損料(円)丸め : $KSDa = 1N5.8(0*1*10)/10 = 0$						
1h当り無償貸与機械損料(円)丸め : $KSEa = INT((0+0)*10)/10 = 0$						
1h当り現場修理費(円/h)丸め : $HSEa = INT(60900*0*10^(-6)*10)/10 = 0$						
1h当り管理費(円/h)丸め : $HKEa = INT(0/3.9*10)/10 = 0$						
供用1日当り管理費(円/日)丸め : $DKEa = INT(6090000*(0*10^(-6)*10)/10 = 0$						
供用1日当り管理费率(* 10^{-6}) : $DKr = ((0/100)/360)*10^6 = 0$						
規格区分(山積m3)(絶対値) : $NK = (0.28*0.28)^(1/2) = 0.28$						
規格区分(t吊)(絶対値) : $NK2 = (0*0)^(1/2) = 0$						
損料補正有無(総合)へ`-ス` : $SHT = 0+0+0+0+0 = 0$						
損料補正有無(標準外のt) : $SH2 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = if(10==0,1-1,if(0==1,1-1,if(1==1,1-1,0),0)) = 0$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(特殊規格加減)へ`-ス` : $SH5 = (0*0)^(1/2) = 0$						

単価表

バックホ(排対2次)
クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)

2号単価表

1時間当たり

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(特殊)	人					[R7.3] [R01021 RTPC00006]
軽油 小型ローリー・バトロ給油	L					[参考:物資R08.02] [P34029 TTPC00013]
バックホ[排出ガス対策型(第2次基準値)] クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)	時間					[R7建設機械等損料表] [0202-113-020-001]
計						
1時間当たり						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用；11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上)						
1h当り運転労務数量：R2=0.16人/h						
1h当り燃料又は電力消費量：N2=5.9L, kWh 軽油：軽油；小型ローリー・バトロ給油						
1h当り機械数量(h)：S2=1h						
一般又は特殊運転手(人/h)：Rh1 = if(0=1, if(1=0, 0, 1/7), (MIN(1, 1)/MIN(7, 5.8))) = 0.17						
一般又は特殊運転手(人/日)：Rd1 = if(0=1, if(1=0, 0, 1), (MIN(1, 1)/MIN(7, 5.8)*5.8)) = 1						
1h当り消費量(L又はkWh)丸めなし：Nh0 = 41*0.144 = 5.904						
1h当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nh1 = 41*0.144 = 5.9						
1h当り消費量(L又はkWh)整数止め：Nh2 = 41*0.144 = 6						
1日当り消費量(L又はkWh)：Nd = 34.22*1+34*0+34*0+34.2*0 = 34.22						

単価表

バックホ(排対2次)
クロー型・山積0.28m3(平積0.2m3)

2号単価表

1時間当たり

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
1日当り消費量(L又はkWh)丸め無：Nd0 = 5.9*5.8 = 34.22						
1日当り消費量(L又はkWh)小数2位：Nd1 = 5.9*5.8 = 34.22						
1日当り消費量(L又はkWh)整数止：Nd2 = 5.9*5.8 = 34						
1日当り消費量(L又はkWh)有効2桁：Nd3 = 5.9*5.8 = 34						
1日当り消費量(L又はkWh)小数1位：Nd4 = 5.9*5.8 = 34.2						
損料表上の標準のT(h/日)：T0 = 700/120*(1-MIN(0.1, 0)*10)+0 = 5.8						
Tによる補正有無の判定用計算：Tj = 0/5.8 = 0						
供用日当り運転時間(h/日)：t = if(0=1, (0*5.8), if(1=1, if(1=1, 3/9, 3/9), 0)) = 3.9						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位：t0Z = 700/180*(1-MIN(0.1, 0)*10)+0 = 3.9						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁：t0H = 700/180*(1-MIN(0.1, 0)*10)+0 = 3.9						
tによる補正有無の判定用計算：tj = 0/(3.9*1+3.9*(1-1)) = 0						
供用日数率：α2 = if(0=1, 1/0, if(0=1, 5.8/3.9, 180/120)) = 1.5						
1h当り運転日数(日/h)：Sd = 1/5.8 = 0.17						
1h当り供用日数(供用日/h)：Sdt = 1/3.9 = 0.26						
運転1h当り換算損料 13欄から：SnHa = INT(1930*(0/100+1)*10)/10 = 1930						
運転1h当り換算損料 9・11欄から：SnHb = INT(((652*1+4980*1/3.9)*(0/100+1)*10)/10) = 1930						
運転1h当り換算損料 指定13欄：SnHb2 = INT((0+4980*(1-1)/3.9)*(0/100+1)*10)/10 = 0						
運転1日当り換算損料(円/日)：SnD = (11300*1+11200*(1-1))*1+11200*(1-1) = 11300						
運転1日当り換算損料 15欄から：SnDa = INT(7520*1.5*(0/100+1)*10)/10 = 11300						
運転1日当り換算損料 9・11欄から：SnDb = INT(5.8*((652*1+4980*1/3.9)*1*(0/100+1)*10)/10) = 11200						
運転1h当り損料(円/h)丸め：UgSa = INT(if(0=0, (6090000*107*10^(-6)), 0)*1*10)/10 = 652						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(4980*1*1*10)/10 = 4980						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = 4980*MIN(0, 1)+4980*(1-MIN(0, 1)) = 4980						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(6090000*818*10^(-6)*10)/10 = 4980						
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSf = INT(6090000*818*10^(-6)*10)/10 = 4980						
供用1日当り損料率(概算)(*10^6)：Knr1 = 4980/(6090*1000)*10^6 = \$18						
供用1日損料切替(0=特殊加減なし)：KnSS = (0*0)^(-1/2) = 0						
補正後基礎価格(円/台)丸め：Kka = INT((6090*1000+0)*10)/10 = 6090000						

単価表

バック納(排対2次)
クマ型・山積0.28m3(平積0.2m3)

2号単価表

1時間当たり

名 称 ・ 規 格	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要	備 考
11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : $b1 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : $b2 = 1*0+1*(1-0) = 1$						
NEXCO独自損料(運転)(円/h)丸め : $Ynx9 = INT(652*1*(0/100+1)*10)/10 = 652$						
NEXCO独自損料(供用)(円/供用日)丸め : $Ynx11 = INT(4980*1*(0/100+1)*10)/10 = 4980$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/h) : $YNXAh = (1930-INT(1*652)-INT(0.26*4980))*if(0==1,1,1) = -16$						
・NEXCO独自損料(調整金)(円/日) : $YNXAD = (11300-INT(1*652)-INT(1.5*4980))*if(0==1,1,0) = 0$						
・1日当り賃料(円/日)(計算後) : $RE = 0/if(0==1,0,1) = 0$						
・1日当り無償貸与機械評価額(円) : $MKD = 11300-0 = 11300$						
・1h当り無償貸与機械評価額(円/h) : $MKK = 1930-0 = 1930$						
1日当り無償貸与機械損料(円)丸め : $KSDa = INT(8(0*1*10)/10) = 0$						
1h当り無償貸与機械損料(円)丸め : $KSEa = INT((0+0)*10)/10 = 0$						
1h当り現場修理費(円/h)丸め : $HSEa = INT(60900*0*10^(-6)*10)/10 = 0$						
1h当り管理費(円/h)丸め : $HKEa = INT(0/3.9*10)/10 = 0$						
供用1日当り管理費(円/日)丸め : $DKEa = INT(6090000*(0*10^(-6)*10)/10) = 0$						
供用1日当り管理费率(* 10^{-6}) : $DKr = ((0/100)/360)*10^6 = 0$						
規格区分(山積m3)(絶対値) : $NK = (0.28*0.28)^(1/2) = 0.28$						
規格区分(t吊)(絶対値) : $NK2 = (0*0)^(1/2) = 0$						
損料補正有無(総合)へ`-ス` : $SHT = 0+0+0+0+0 = 0$						
損料補正有無(標準外のt) : $SH2 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(岩石作業) : $SH3 = if(10==0,1-1,if(0==1,1-1,if(1==1,1-1,0))) = 0$						
損料補正有無(豪雪補正) : $SH4 = 1-1 = 0$						
損料補正有無(特殊規格加減)へ`-ス` : $SH5 = (0*0)^(1/2) = 0$						

単価表

振動ロー
ハトカト式・質量0.5~0.6t

5号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
特殊作業員	人					[R7.3] [R01002 RTPC00001]
軽油 小型ロー・ハトカト給油	L					[(参考:物資R08.02)] [P34029 TTPC00013]
振動ロー(舗装用) ハトカト式・質量0.5~0.6t	供用日					[R7建設機械等損料表] [0841-100-006-001]
諸雑費	式				調整金	
計						
1日当り						
供用損料に対する補正：単価管理で設定した損料を適用；11欄に掛ける補正值:建設機械(陸上) 軽油：軽油；小型ロー・ハトカト給油						
供用日当り運転時間(h/日)：t = 3.4*1+0*(1-1) = 3.4						
損料表上の標準のt(h/日)：t0 = 3.4*1+3.4*(1-1) = 3.4						
損料表上の標準のt(h/日)小数1位：t0Z = 410/120 = 3.4						
損料表上の標準のt(h/日)有効2桁：t0H = 410/120 = 3.4						
tによる補正有無の判定用計算：tj = 0/3.4 = 0						
運転1h当り損料(円/h)丸め：UgSa = INT(1060000*122*10 ⁻⁶)*10/10 = 129						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり：KnSa = INT(991*1*10)/10 = 991						
供用1日当り損料(円/日)豪雪なし：KnSb = 991*0+991*(1-0) = 991						

46 頁

単価表

振動ロー
ハトカト式・質量0.5~0.6t

5号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日当り損料(円/日)特殊加減：KnSc = INT(1060000*935*10 ⁻⁶)*10/10 = 991						
供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁻⁶)：KnR = 991/(1060*1000)*10 ⁻⁶ = 935						
・(15欄 補正後)供用1日当換算損料：SnK = 1430*1+1430*(1-1) = 1430						
供用1日当り換算損料 15欄から：SnKa = INT(1430*(0/100+1)*10)/10 = 1430						
供用1日当り換算損料 9・11欄から：SnKb = INT((129*1*1+991*1/3.4)*(0/100+1)*3.4*10)/10 = 1430						
補正後基礎価格(円/台)丸め：KKa = INT((1060*1000+0)*10)/10 = 1060000						
11欄に掛ける補正值(11欄丸め)：b1 = 1*0+1*(1-0) = 1						
11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め)：b2 = 1*0+1*(1-0) = 1						
換算供用1日当り貸与損料(円)丸め：KSDa = INT((0+0/3.4)*3.4*(0/100+1)*10)/10 = 0						
運転1h当り現場修理費(円/h)丸め：HSEa = INT(1060000*0*10 ⁻⁶)*10/10 = 0						
供用1日当り管理費(円/日)丸め：DKEa = INT(1060000*(0*10 ⁻⁶)*10)/10 = 0						
供用1日当り管理費率(*10 ⁻⁶)：DKr = ((0/100)/360)*10 ⁻⁶ = 0						
損料補正有無(総合)：SHT = 0+0+0+0+0 = 0						
損料補正有無(交替作業)：SH1 = 1-1 = 0						
損料補正有無(標準外のt)：SH2 = 1-1 = 0						
損料補正有無(岩石作業)：SH3 = 1-1 = 0						
損料補正有無(豪雪補正)：SH4 = 1-1 = 0						
損料補正有無(特殊規格加減算)：SH5 = (0*0)^(1/2) = 0						
規格区分(1)(絶対値)：NK = (0.6*0.6)^(1/2) = 0.6						
工種区分(絶対値)：NK3 = (132*132)^(1/2) = 132						

47 頁

単価表

ダンプトラック 普通
 6ローター・ディーゼル・積載質量4t積級

7号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
運転手(一般)	人					[R7.3] [R01022 RTPC00007]
軽油 小型ローター・ディーゼル給油	L					[(参考:物資R08.02)] [P34029 TTPC00013]
ダンプトラック 6ローター・ディーゼル・積載質量4t積級	供用日					[R7建設機械等損料表] [0301-011-040-001]
タテ損耗費及び補修費(供用1日当り) ダンプトラック4t・普通	供用日					[R7建設機械等損料表]
計						
1日当り						
1日当り損料又は賃料数量 : Sd3=1.29供用日 1日当りタテ損耗費数量 : Sd4=1.29供用日						
供用損料に対する補正 : 単価管理で設定した損料を適用 : ; 11欄に掛ける補正值:建設機械 (陸上) 1日当り労務数量 : Rd2=1人						
軽油 : 軽油 ; 小型ローター・ディーゼル給油 1日当り燃料又は電力数量 : Nd2=32L, kWh						
1日当り損料数量(供用日) : Sd2S = 0+1.29 = 1.29 運転日当り運転時間(h/日) : T = 5.9*0+0*(1-0) = 0 損料表上の標準のT(h/日) : T0 = 830/140 = 5.9 Tによる補正有無の判定用計算 : Tj = 0/5.9 = 0						

単価表

ダンプトラック 普通
 6ローター・ディーゼル・積載質量4t積級

7号単価表

1日当り

名称・規格	単位	数量	単価	金額	摘要	備考
供用1日当り運転時間(h/日) : t = 4.6*1+0*(1-1) = 4.6 損料表上の標準のt(h/日) : t0 = 4.6*1+4.6*(1-1) = 4.6 損料表上の標準のt(h/日)小数1位 : t0Z = 830/180 = 4.6 損料表上の標準のt(h/日)有効2桁 : t0H = 830/180 = 4.6 tによる補正有無の判定用計算 : tj = 0/4.6 = 0 運転1h当り損料(円/h)丸め : UgSa = INT(5960000*96*10 ⁻⁶ (-6)*10)/10 = 572						
供用1日当り損料(円/日)豪雪あり : KnSa = INT(5670*1*10)/10 = 5670 供用1日当り損料(円/日)豪雪なし : KnSb = 5670*0+5670*(1-0) = 5670 供用1日当り損料(円/日)特殊加減 : KnSc = INT(5960000*951*10 ⁻⁶ (-6)*10)/10 = 5670 供用1日当り損料率(概算)(*10 ⁻⁶) : Knr = 5670/(5960*1000)*10 ⁻⁶ = 951						
供用1日当り換算損料 15欄から : SnKa = INT(8310*(0/100+1)*10)/10 = 8310 供用1日当り換算損料 9・11欄から : SnKb = INT((572*1*1+5670*1/4.6)*(0/100+1)*4.6*10)/10 = 8300 供用1日当り換算損料 指定15欄端数切用 : SnKb2 = (572*(1-1)*4.6+5670*(1-1)+0)*(0/100+1)*10 = 0 供用1日当り換算損料 計算・指定13欄判断 : SnKb3 = if(1==1.25, (0/10), 8300) = 8300						
補正後基礎価格(円/台)丸め : KKa = INT((5960*1000+0)*10)/10 = 5960000 11欄に掛ける補正值(11欄丸め) : b1 = 1*0+1*(1-0) = 1 11欄に掛ける補正值(13・15欄丸め) : b2 = 1*0+1*(1-0) = 1 1日当り賃料(円/日)(計算後) : RE = MIN(0, 0)*(1+0*0/0) = 0 1日当り賃料(円/日)(長期割引) : REc = 0*30*(1-0/100)/MIN(1, 30) = 0 損料補正有無(総合) : SHT = 0+0+0+0 = 0 損料補正有無(交替作業) : SH1 = 1-1 = 0 損料補正有無(標準外のt) : SH2 = 1-1 = 0 損料補正有無(岩石作業) : SH3 = if(10>= 8, if(1== 3, 1-1, if(1==1.1, 1-1, 0)), 1-1) = 0 損料補正有無(豪雪補正) : SH4 = 1-1 = 0 損料補正有無(特殊規格加減算) : SH5 = (0*0)^(1/2) = 0 規格区分(1)(絶対値) : NK = (4*4)^(1/2) = 4 工種区分(絶対値) : NK3 = (0*0+0*0)^(1/2) = 0						

県道大山淀江インター線
支障水道施設移転工事

数量計算書

(ϕ 150mm \sim ϕ 75 配水管布設)

φ75mm 配水管布設(計画③)

No.1

名 称	形 状 寸 法	単 位	計	HPPE φ75		SUS80A		備 考
				数量	切管数量	延長 m	切管延長 m	
(材 料)								
水道配水用ポリエチレン管 EF受口付直管	HPPE φ75×5000	本	1		1		5.00	切管調書 5.00
PVジョイント (HPPE-SUS)	内外面粉体塗装 φ75	個	1	1				
PVメカニカルバンド	内外面粉体塗装 φ75×90°	個	1	1		0.05	0.05	0.05
配管用ステンレス鋼管	SUS304,Sch20S 80A	m	2.48	2.48			2.48	
SUS304 異径ソケット	80A×65A	個	1	1				
SUS304 六角ニップル	65A	個	1	1				
消火栓 アングルバルブ	65A×90°	個	1	1				
消火栓基礎型枠用 硬質ポリ塩化ビニル管(薄肉管)	VUφ250×4000	本	-	1	L=2.75m			計画①に計上済
管明示テープ	幅50mm ダブル	m	1.7	1.71				
埋設標識シート	巾150mm	m	5.6	5.6				
HPPE φ75		m		5.05		0	5.05	
SUS80A		m		2.53			2.53	
配管布設延長		m		7.58		5.05	2.53	
仕切弁を抜いた 配管布設延長		m		7.58		5.05	2.53	
HPPE φ75 管明示テープ	巾50mm ダブル	m		1.71		5.05		@0.339m 土工延長
埋設標識シート	巾150mm	m		5.6				
HPPE ロケーティングワイヤー	φ3.4mm	m		5.05		5.05		
(労 務)								
ポリエチレン管据付工	融着 φ75	m	5.1	5.05				
ポリエチレン管接合工	融着継手(1口) φ75	口	3	3				
小口径鋼管据付工	人力施工 80A	m	2.5	2.53				
ステンレス管切断工	80A	口	1	1				
小口径管ねじ切り工	80A	口	1	1				計画①に計上済
小口径管ねじ込み接合工	65A	口	1	1				
小口径管ねじ込み接合工	80A	口	1	1				
小型消火栓設置工	人力施工 φ65	基	1	1				
消火栓基礎 硬質塩化ビニル管切断工	φ250	口	1	1				
人力施工 コンクリート打設工	σ18-8-40	m3	0.1	0.13	0.13=π/4×0.25×0.25×2.68			
基礎砕石工	RC-40,t=10cm	m2	0.1	0.12	0.12=0.35×0.35			
HPPE 管明示テープ工	巾50mm	m	5.1	5.05				
埋設標識シート工	巾150mm	m	5.6	5.6				
HPPE管 ロケーティングワイヤー工	φ3.4mm	m	5.1	5.05				
(土工)		m	5.6					
配管布設土工⑥	H=1.1m HPPE φ75	m	1.0	1.0				
配管布設土工⑨	H=1.1m HPPE φ75	m	4.6	4.6				

φ 100mm 配水管布設

配水管 GX-DCIP φ 100

切管計画表

GX-DCIP φ 150× 5000

No.	甲 切 管		乙 切 管				合計	残管	切断工 箇所数	備考
	GX	P	小計	G	G	小計				
	⊕	→		→	⊕					
1	3.450	3.450			1.390	1.390	4.840	0.160	2	計画①
合計		3.450			1.390	1.390	4.840	0.160	2	

φ 75mm 切管一覧表 (EF-HPPE)

φ 75mm

(単位:m)

No.	受口	甲切		乙切						計	残管	切断	備考		
1	EF	0.69	0.51							1.20	1.25	2	計画①		
2			0.65	0.60	0.33	0.49	0.48			2.55		5	計画②		
3	EF	4.50	0.50							5.00	0.00	1	計画③		
4															
5															
6															
7															
8															
9															
10															
11															
合計										2	本	8.75	1.25	8	

φ 150mm 切管一覧表 (PE-HPPE)

φ 150mm

(単位:m)

No.	受口	乙切						計	残管	切断	備考		
1	-	0.35	0.35	0.35				1.05	2.95	3	計画①		
2		0.50	0.50					1.00		2	計画②		
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
合計								1	本	2.05	2.95	5	

計画① φ150mm ~ φ75mm配水管布設工	1/3	単 位	規 格	土工① 断面		土工② 断面		土工③ 断面		土工④ 断面		土工⑤ 断面		土工⑥ 断面		合計	設計数量
				L=	L=												
鋪装版切断工 BH 0.28m3	As t=15cm以下	m		2.00	2.40	2.00	2.80	2.00	2.40	2.00	2.00	0.80	2.00	2.00	2.00	14.40	39.00
鋪装版直接壓削・積込工 BH 0.28m3	As t=10cm以下	m		0.60	0.72	0.60	0.84	0.60	0.72	0.60	0.60	0.24	0.60	0.60	5.40	11.70	12
機械掘削工 BH 0.28m3	砂・砂質土・礫質土 外小 篩固 真砂土	m3		0.43	0.52	0.73	1.02	0.50	0.60	0.80	0.80	0.32	0.44	0.46	1.24	3.83	13
機械埋戻工		m3		0.23	0.28	0.53	0.74	0.29	0.35	0.59	0.24	0.24	0.26	0.39	1.05	2.74	10
下層路盤工(1.8m未満)	1層 RRC-30 t=20cm	m2		0.60	0.72	0.60	0.84	0.60	0.72	0.60	0.24	0.60	0.60		2.70	4.44	4
上層路盤工(1.8m未満)	1層 M-30 t=12cm	m2		0.60	0.72	0.60	0.84	0.60	0.72	0.60	0.24	0.60	0.60		2.70	4.44	4
路盤工(1.8m未満)	RRC-30 t=10cm	m2															
仮鋪装工	再生密粒度As 車道 t=3cm	m2		0.60	0.72	0.60	0.84	0.60	0.72	0.60	0.24	0.60	0.60		2.70	4.44	4
仮鋪装工	再生密粒度As 歩道 t=3cm	m2															
土砂運搬工	土砂 機械積込 DT4tL=2.7km	m3		0.43	0.52	0.73	1.02	0.50	0.60	0.80	0.32	0.44	0.46	1.24	3.83	12.59	13
土砂運搬工	As殻 機械積込 DT4tL=6.4km	m3		0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	0.04	0.03	0.01	0.03	0.03	0.02	0.05	0.19	0.46
残土処理工	礫質土 (整地)	m3		0.43	0.52	0.73	1.02	0.50	0.60	0.80	0.32	0.44	0.46	1.24	3.83	12.59	13
As処分工		t		0.07	0.09	0.07	0.10	0.07	0.09	0.07	0.03	0.07	0.05	0.13	0.46	1.12	1.1
(本復旧)																	
鋪装版切断工 BH 0.28m3	As t=15cm以下	m3		2.00	2.40	2.00	2.80	2.00	2.40	2.00	2.00	0.80	2.00	2.00	14.40	39.00	39
鋪装版直接壓削・積込工 BH 0.28m3	As t=10cm以下	m2		1.20	1.44	1.20	1.68	1.20	1.44	1.20	1.20	0.48	1.20	0.80	7.56	18.56	19
機械掘削工	砂・砂質土・礫質土	m3		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.06	0.1
不陸整正工		m2		1.20	1.44	1.20	1.68	1.20	1.44	1.20	1.20	0.48	1.20	0.80	7.56	18.56	19
鋪装復旧工	再生密粒度As 車道 t=5cm	m2		1.20	1.44	1.20	1.68	1.20	1.44	1.20	1.20	0.48	1.20	0.80	5.40	8.88	9
鋪装復旧工	再生密粒度As 歩道 t=3cm	m2															
土砂運搬工	土砂 機械積込 DT4tL=2.7km	m3		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.06	0.1
土砂運搬工	As殻 機械積込 DT4tL=6.4km	m3		0.05	0.06	0.05	0.07	0.05	0.06	0.05	0.02	0.05	0.05	0.02	0.28	0.61	0.6
残土処理工	礫質土 (整地)	m3		0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.03	0.06	0.1
As処分工		t		0.12	0.14	0.12	0.17	0.12	0.14	0.12	0.05	0.12	0.05	0.13	0.67	1.47	1.5

配管布設土工

単位断面数量表

配管布設土工1

断面番号 : 配管布設土工①

断面名称 : 県道車道As DCIP-GX φ150 H=0.60m

管控除 : 0.17 × 0.17 × π / 4 = 0.023 m²

掘削機械 : BH0.28 m³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計算式	単位	数量	備考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>1m当り</p> <p>配管布設土工① 県道車道As : φ150 埋設深度 H=0.60m (掘削) (埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.72 =	m ³	0.43	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 0.42 - 0.023) =	m ³	0.23	
下層路盤工 (1.8m未満) 1層 RCC-30 20cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
上層路盤工 (1.8m未満) 1層 M-30 12cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L = km 0.43		m ³	0.43	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L = km 0.60	0.60 × 0.05 =	m ³	0.03	
残土処理工 礫質土 0.43		m ³	0.43	
As処分工 0.03	0.03 × 2.35 =	t	0.071	
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.30 + 0.30) =	m ²	1.20	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.02 =	m ³	0.01	
不陸整正工	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
表層工 車道再生密粒度 As 5cm	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L = km 0.01		m ³	0.01	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L = km 0.60	0.60 × 0.03 + 0.60 × 0.05 =	m ³	0.05	
残土処理工 礫質土 0.01		m ³	0.01	
As処分工 0.05	0.05 × 2.35 =	t	0.118	

配管布設土工2

断面番号	: 配管布設土工②
断面名称	: 県道車道As DCIP-GX φ150 H=1.10m
管控除	: 0.17 × 0.17 × π / 4 = 0.023 m ²
掘削機械	: BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計算式	単位	数量	備考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>配管布設土工② 県道車道As : φ150 埋設深度 H=1.10m (掘削) (埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 1.22 =	m ³	0.73	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 0.92 - 0.023) =	m ³	0.53	
下層路盤工(1.8m未満) 1層 RRC-30 20cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
上層路盤工(1.8m未満) 1層 M-30 12cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km	0.73	m ³	0.73	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.05 =	m ³	0.03	
残土処理工 礫質土	0.73	m ³	0.73	
As処分工	0.03 × 2.35 =	t	0.071	
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.30 + 0.30) =	m ²	1.20	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.02 =	m ³	0.01	
不陸整正工 表層工	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
車道再生密粒度 As 5cm	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km	0.01	m ³	0.01	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.03 + 0.60 × 0.05 =	m ³	0.05	
残土処理工 礫質土	0.01	m ³	0.01	
As処分工	0.05 × 2.35 =	t	0.118	

1m当り

配管布設土工3

断面番号	: 配管布設土工③
断面名称	: 県道車道As HPE φ150 H=0.60m
管控除	: 0.18 × 0.18 × π / 4 = 0.025 m ²
掘削機械	: BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計算式	単位	数量	備考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>配管布設土工③ 県道車道As : φ150 埋設深度 H=0.60m (掘削)(埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.83 =	m ³	0.50	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 0.53 - 0.025) =	m ³	0.29	
下層路盤工(1.8m未満) 1層 RCC-30 20cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
上層路盤工(1.8m未満) 1層 M-30 12cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km	0.50	m ³	0.50	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.05 =	m ³	0.03	
残土処理工 礫質土	0.50	m ³	0.50	
As処分工	0.03 × 2.35 =	t	0.071	
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.30 + 0.30) =	m ²	1.20	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.02 =	m ³	0.01	
不陸修正工	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
表層工 車道再生密粒度 As 5cm	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
土砂運搬工 土砂 機械積込 L= km	掘削土 0.01	m ³	0.01	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.03 + 0.60 × 0.05 =	m ³	0.05	
残土処理工 礫質土	0.01	m ³	0.01	
As処分工	0.05 × 2.35 =	t	0.118	

1m当り

配管布設土工4

断面番号	: 配管布設土工④
断面名称	: 県道車道As HPPEφ150 H=1.10m
管控除	: 0.18 × 0.18 × π / 4 = 0.025 m ²
掘削機械	: BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計算式	単位	数量	備考
舗装版切断工 As t≦15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>配管布設土工④ 県道車道As: φ150 埋設深度 H=1.10m (掘削)(埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t≦10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 1.33 =	m ³	0.80	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 1.03 - 0.025) =	m ³	0.59	
下層路盤工(1.8m未満) 1層 RCC-30 20cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
上層路盤工(1.8m未満) 1層 M-30 12cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km	0.80	m ³	0.80	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.05 =	m ³	0.03	
残土処理工 礫質土	0.80	m ³	0.80	
As処分工	0.03 × 2.35 =	t	0.071	
本復旧				
舗装版切断工 As t≦15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t≦10cm	1.00 × (0.60 + 0.30 + 0.30) =	m ²	1.20	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.02 =	m ³	0.01	
不陸整正工 表面工	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
車道再生密粒度 As 5cm	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km	0.01	m ³	0.01	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.03 + 0.60 × 0.05 =	m ³	0.05	
残土処理工 礫質土	0.01	m ³	0.01	
As処分工	0.05 × 2.35 =	t	0.118	

配管布設土工5

断面番号	: 配管布設土工⑤
断面名称	: 県道車道As HPPE φ75 H=0.60m
管控除	: 0.09 × 0.09 × π / 4 = 0.006 m ²
掘削機械	: BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計算式	単位	数量	備考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>配管布設土工⑤ 県道車道As : φ75 埋設深度 H=1.15m (掘削)(埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.74 =	m ³	0.44	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 0.44 - 0.006) =	m ³	0.26	
下層路盤工(1.8m未満) 1層 RCC-30 20cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
上層路盤工(1.8m未満) 1層 M-30 12cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km	0.44	m ³	0.44	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.05 =	m ³	0.03	
残土処理工 礫質土	0.44	m ³	0.44	
As処分工	0.03 × 2.35 =	t	0.071	
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.30 + 0.30) =	m ²	1.20	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.02 =	m ³	0.01	
不陸整正工 表面工	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
車道再生密粒度 As 5cm	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
土砂運搬工 掘削土	0.01	m ³	0.01	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.03 + 0.60 × 0.05 =	m ³	0.05	
残土処理工 礫質土	0.01	m ³	0.01	
As処分工	0.05 × 2.35 =	t	0.118	

1m当り

配管布設土工6

断面番号	: 配管布設土工⑥
断面名称	: 県道車道As HPPE φ75 H=1.10m
管控除	: 0.09 × 0.09 × π / 4 = 0.006 m ²
掘削機械	: BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計算式	単位	数量	備考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>1m当り</p> <p>配管布設土工⑥ 県道車道As : φ75 埋設深度 H=1.15m (掘削)(埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 1.24 =	m ³	0.74	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 0.94 - 0.006) =	m ³	0.56	
下層路盤工(1.8m未満) 1層 RCC-30 20cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
上層路盤工(1.8m未満) 1層 M-30 12cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km 0.74		m ³	0.74	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.05 =	m ³	0.03	
残土処理工 礫質土 0.74		m ³	0.74	
As処分工 0.03 × 2.35 =		t	0.071	
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.30 + 0.30) =	m ²	1.20	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.02 =	m ³	0.01	
不陸修正工	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
表層工 車道再生密粒度 As 5cm	1.00 × 1.20 =	m ²	1.20	
土砂運搬工 掘削土 土砂 機械積込 L= km 0.01		m ³	0.01	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.03 + 0.60 × 0.05 =	m ³	0.05	
残土処理工 礫質土 0.01		m ³	0.01	
As処分工 0.05 × 2.35 =		t	0.118	

配管布設土工7

断面番号	： 配管布設土工⑦
断面名称	： 県道歩道As HPPEφ75 H=0.24m
管控除	： 0.09 × 0.09 × π / 4 = 0.006 m ²
掘削機械	： BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計 算 式	単 位	数 量	備 考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>配管布設土工⑦</p> <p>県道歩道As: φ75 埋設深度 H=0.24m</p> <p>(掘削) (埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・礫質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.40 =	m ³	0.24	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 0.30 - 0.006) =	m ³	0.17	
路盤工(1.8m未満) 1層 RC-30 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 土砂運搬積込 L= km	掘削土 0.24	m ³	0.24	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.03 =	m ³	0.02	
As殻処理工 礫質土	0.24	m ³	0.24	
As処分工	0.02 × 2.35 =	t	0.047	
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.10 + 0.10) =	m ²	0.80	
機械掘削工 砂・礫質土・礫質土		m ³		
不陸整正工 表層工	1.00 × 0.80 =	m ²	0.80	
車道再生密粒度 As 3cm 土砂運搬工	掘削土 1.00 × 0.80 =	m ²	0.80	
土砂 機械積込 L= km		m ³		
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.80 × 0.03 =	m ³	0.02	
As殻処理工 礫質土		m ³		
As処分工	0.02 × 2.35 =	t	0.047	

1m当り

配管布設土工8

断面番号	: 配管布設土工⑧
断面名称	: 県道歩道As HPPE φ75 H=0.60m
管控除	: 0.09 × 0.09 × π / 4 = 0.006 m ²
掘削機械	: BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

名称	計算式	単位	数量	備考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p>1m当り</p> <p>配管布設土工⑧</p> <p>県道歩道As: φ75 埋設深度 H=0.60m</p> <p>(掘削) (埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 0.76 =	m ³	0.46	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 0.66 - 0.006) =	m ³	0.39	
路盤工(1.8m未満) 1層 RC-30 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 掘削土	0.46	m ³	0.46	
土砂機械積込 L= km	0.60 × 0.03 =	m ³	0.02	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.46	m ³	0.46	
残土処理工 礫質土	0.02 × 2.35 =	t	0.047	
As処分工				
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.10 + 0.10) =	m ²	0.80	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土		m ³		
不陸整正工	1.00 × 0.80 =	m ²	0.80	
表層工 車道再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.80 =	m ²	0.80	
土砂運搬工 掘削土		m ³		
土砂機械積込 L= km	0.80 × 0.03 =	m ³	0.02	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km		m ³		
残土処理工 礫質土	0.02 × 2.35 =	t	0.047	
As処分工				

配管布設土工9

断面番号	： 配管布設土工⑨
断面名称	： 県道歩道As HPPE φ75 H=1.10m
管控除	： 0.09 × 0.09 × π / 4 = 0.006 m ²
掘削機械	： BH0.28 m ³ 土砂運搬車 : DT4 t

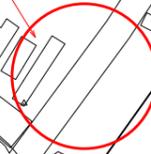
名称	計 算 式	単 位	数 量	備 考
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	<p style="text-align: center;">配管布設土工⑨</p> <p>県道歩道As: φ75 埋設深度 H=1.10m</p> <p>(掘削) (埋戻)</p>
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土	1.00 × 0.60 × 1.26 =	m ³	0.76	
機械埋戻工 真砂土	1.00 × (0.60 × 1.16 - 0.006) =	m ³	0.69	
路盤工(1.8m未満) 1層 RC-30 10cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
仮舗装工 車道 再生密粒度 As 3cm	1.00 × 0.60 =	m ²	0.60	
土砂運搬工 土砂 機械積込 L= km	掘削土 0.76	m ³	0.76	
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.60 × 0.03 =	m ³	0.02	
残土処理工 礫質土	0.76	m ³	0.76	
As処分工	0.02 × 2.35 =	t	0.047	
本復旧				
舗装版切断工 As t ≤ 15cm	1.00 × 2 =	m	2.00	
舗装版直接掘削・積込工 As t ≤ 10cm	1.00 × (0.60 + 0.10 + 0.10) =	m ²	0.80	
機械掘削工 砂・砂質土・礫質土		m ³		
不陸整正工 表層工	1.00 × 0.80 =	m ²	0.80	
車道 再生密粒度 As 3cm 土砂運搬工	掘削土 1.00 × 0.80 =	m ²	0.80	
土砂 機械積込 L= km		m ³		
土砂運搬工 As殻 機械積込 L= km	0.80 × 0.03 =	m ³	0.02	
残土処理工 礫質土		m ³		
As処分工	0.02 × 2.35 =	t	0.047	

1m当り

位置図 S=1:2,500



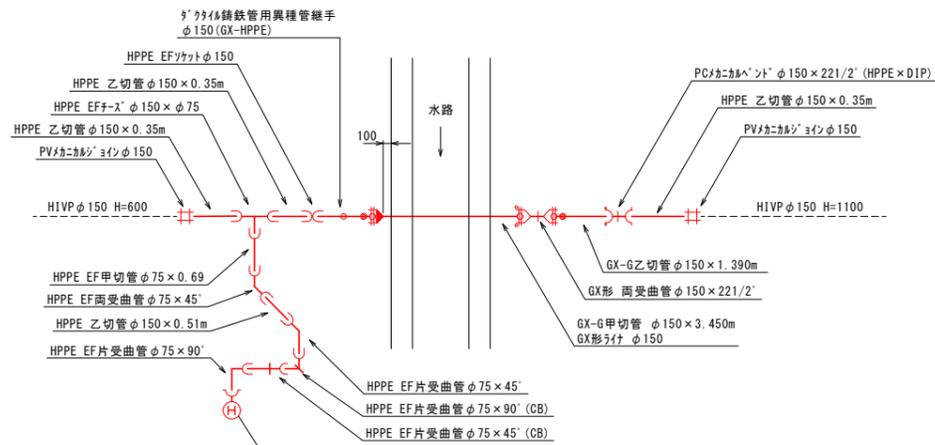
設計場所



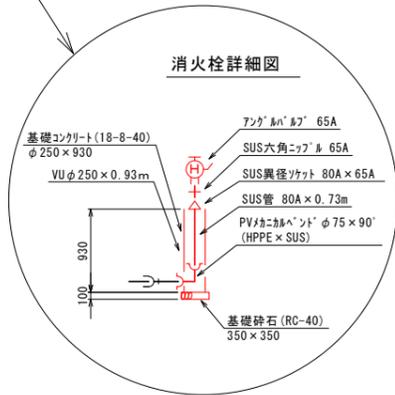
位置	鳥取県 西伯郡 大山町	
	大山町 末長	
工事名	県道大山淀江インター線支障水道施設移転工事	
図名	位置図	
単位	縮尺	1:2,500
4 葉 中 / 1		
令和 7 年度施工		

配管詳細図 Non Scale

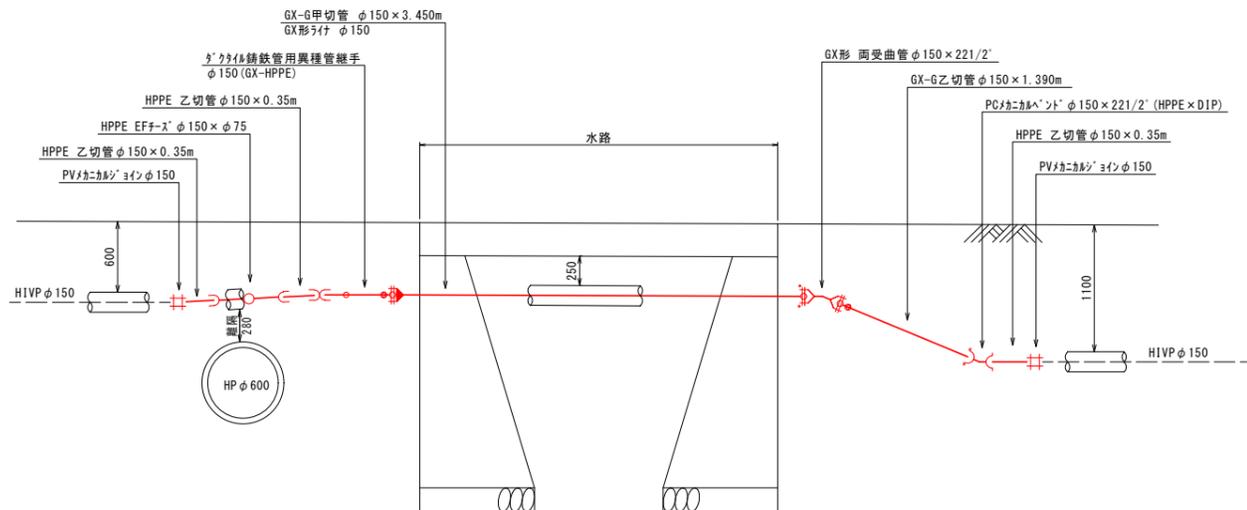
施工場所①



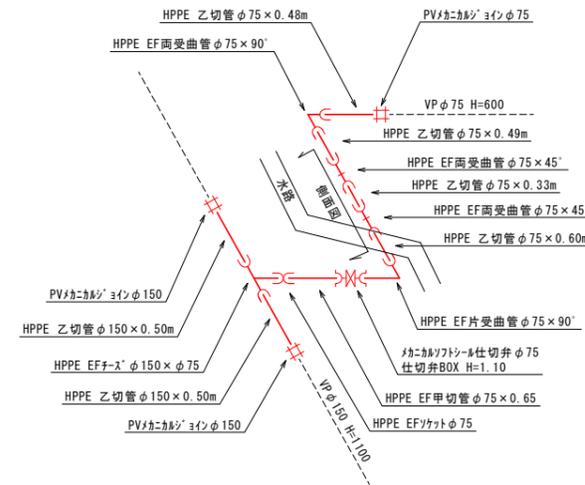
消火栓詳細図



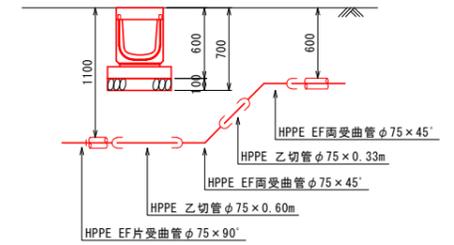
施工場所①側面図



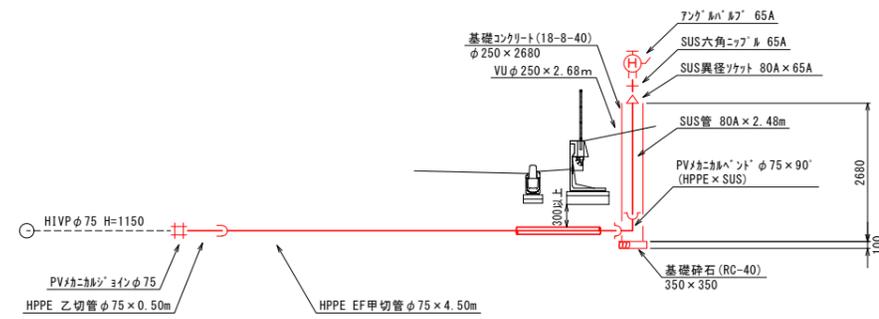
施工場所②



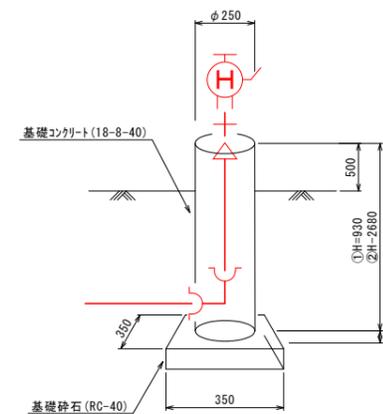
施工場所②側面図



施工場所③



消火栓基礎図



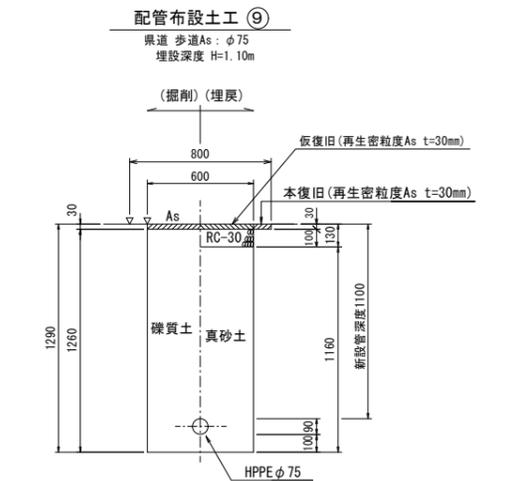
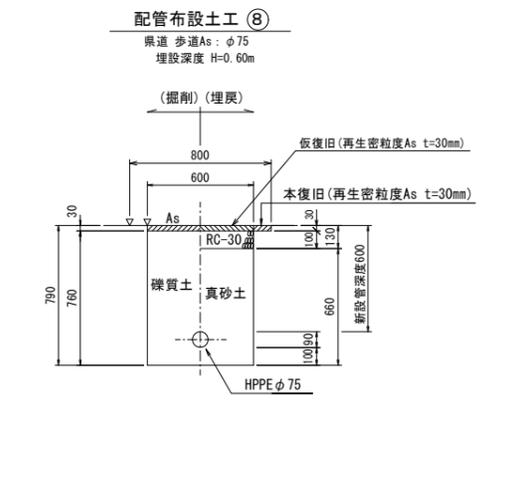
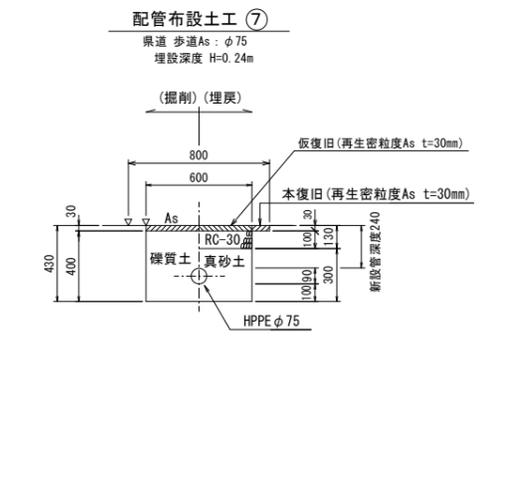
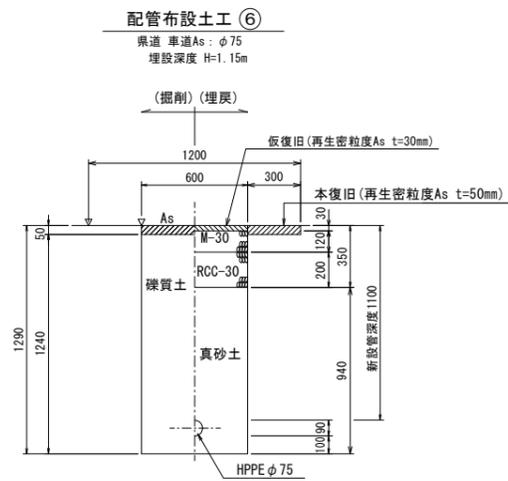
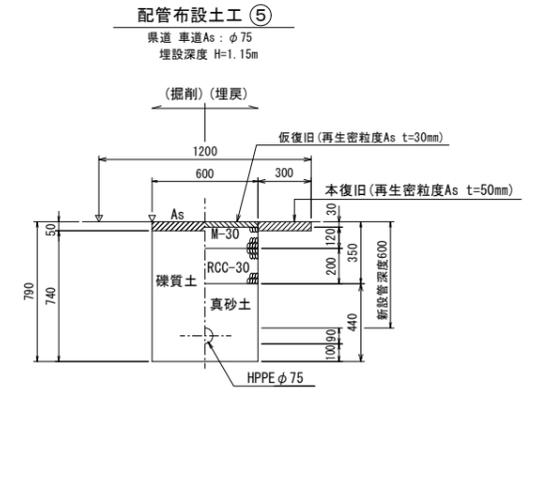
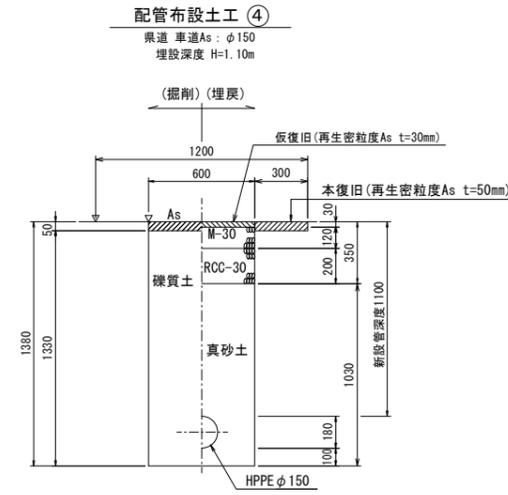
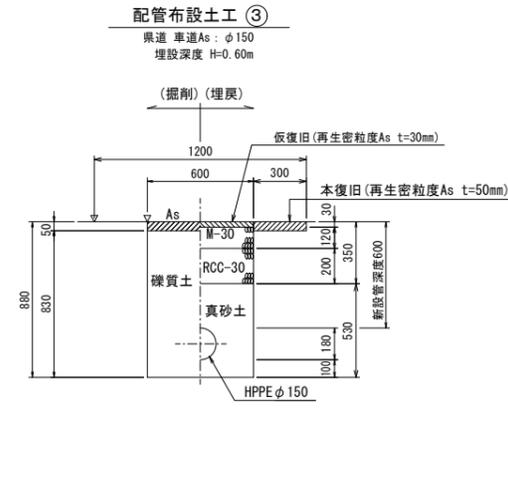
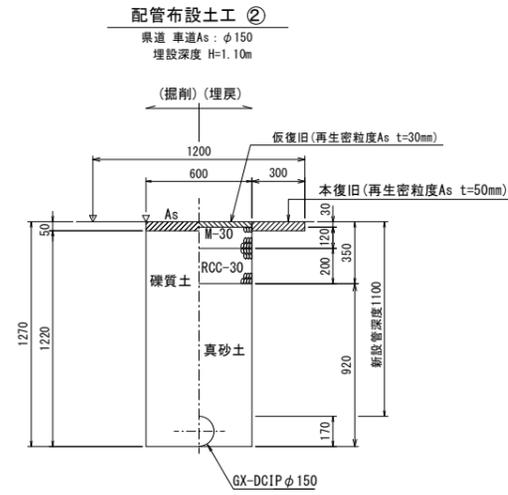
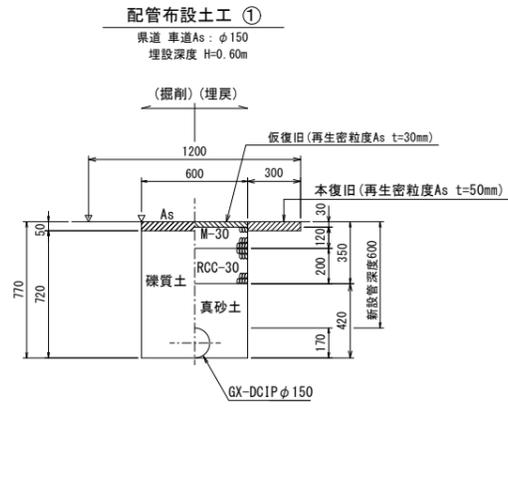
凡例

	GX形継手		EF継手
	GX形継手 (3ヶ所使用)		G-Link

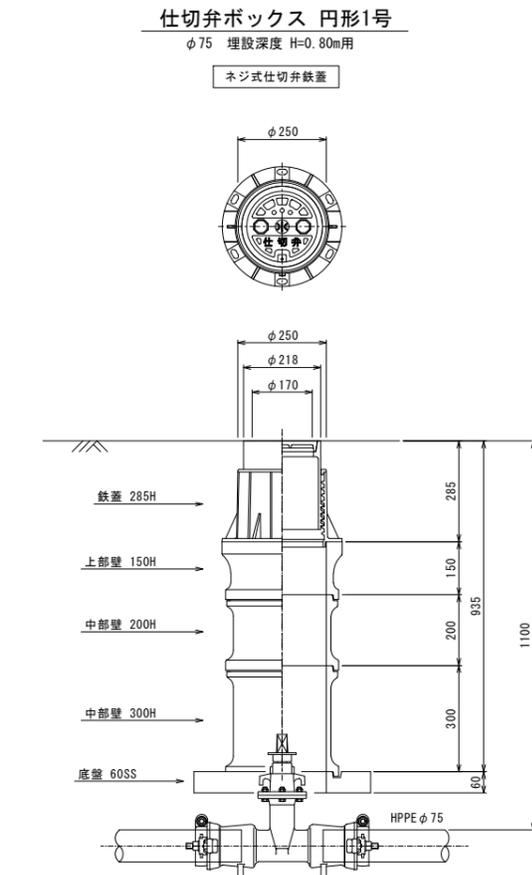
位置	鳥取県 西伯郡 大山町
	大山町 末長
工事名	県道大山淀江インター線支障水道施設移転工事
図名	配管詳細図
単位	縮尺 図示
	4 葉 中 / 3
	令和 7 年度施工

配管布設土工図・仕切弁ボックス組立参考図

配管布設土工図 S=1:20



仕切弁ボックス組立参考図 S=1:10



位置	鳥取県 西伯郡 大山町
	大山町 末長
工事名	県道大山淀江インター線支障水道施設移転工事
図名	配管布設土工図 仕切弁ボックス組立参考図
単位	縮尺 図示
	4 葉 中 / 4
	令和 7 年度施工